

交換留学 中期留学 寮内留学 ガイドブック

2018



◆ 目 次 ◆

応募の前に

留学のすすめ.....	1
海外留学を志す皆さんへのアドバイス.....	2

I. 海外留学プログラム一覧

長期交換留学プログラム（第1期）.....	4
長期交換留学プログラム（第2期）／セメスター交換留学プログラム.....	5
中期留学プログラム.....	6

II. 専修大学国際交流センターステディアフ・ロート・ファイナンスサポート制度（SAFS）

長期・セメスター交換留学プログラム.....	7
中期留学プログラム／寮内留学プログラム.....	8

III. 留学準備

留学計画.....	9
Language Skills Program（LSP）について.....	10
語学能力試験について.....	11
Language Skills Program 特別奨学生制度／留学準備.....	12

IV. 長期交換留学プログラム

長期交換留学プログラムとは／応募条件.....	16
応募手続.....	18
履修登録と単位認定.....	20
大学別概要.....	21

V. セメスター交換留学プログラム

セメスター交換留学プログラムとは／応募条件／応募手続.....	38
履修登録と単位認定.....	40
大学別概要.....	41

VI. 中期留学プログラム

中期留学プログラムとは／応募条件.....	46
プログラム内容.....	47
応募書類／履修登録及び単位認定.....	49
大学・研修校別概要.....	50

VII. 寮内留学プログラム

寮内留学プログラムとは／応募締切日／応募条件／応募手続.....	61
滞在形式／プログラム内容／来日する主な留学生.....	62
寮内留学プログラム（後期）／（前期）概要.....	63

VIII. 留学関連情報

Frequently Asked Questions（よく聞かれる質問：交換留学・中期留学）.....	64
Frequently Asked Questions（よく聞かれる質問：寮内留学）.....	66
主な就職先情報／留学に関する規程（抜粋）.....	67

応募の前に：留学のすすめ

「あなたは留学に関心がありますか。」

ネットでもテレビでも「グローバル化」という言葉が躍っています。2020年には東京オリンピックも開催されます。このような社会の流れの中で、留学してコミュニケーション力を高めたい、異文化を理解したいと思うのは当然です。

専修大学では、質の高い留学プログラムを30年以上にわたって運営しています。そして、その留学にチャレンジするための留学支援講座(Language Skills Program)も多数取り揃えています。「チャレンジする！」とあなたが決意して、保護者の方の同意を得て計画的に準備をすれば、誰にでも留学するチャンスがあるのです。

本学の留学プログラムと他大学の留学プログラムとを比較した人もいますし、民間の留学斡旋会社の説明を聞いたりパンフレットを見たりした人もいるでしょう。専修大学のものでしょうか。専修大学は18の国と地域で34の国際交流協定を締結し、18大学と研修校5校に年間150名以上を派遣しています。派遣にあたっては、授業や活動の質を継続的に本学教職員が調査しています。もちろん、現地に赴き安全確認もしています。これだけ良い条件が揃って、必要経費はどうでしょうか。非常にリーズナブルです。これは大学からの補助や派遣先との交渉の結果です。学外のプログラムとの違いを感じていただけるでしょう。

しばしば、「卒業して働いてお金を貯めてから留学する」という学生もいます。確かに、学生時代に何らかの環境が整わない方はそれも一案です。しかし、社会に出た先輩たちの言葉は一律に「忙しい」「貯金が難しい」と言います。こういう中で留学の意志を持ち続けることは大変なことです。ですから、学生時代の今、環境が整っているのにチャレンジしないというのは、非常にもったいないことではないでしょうか。

実際の参加者についても見てみましょう。直近5年(平成25年度～29年度)の間に、専修大学からは769名が留学をしました。多くは英語圏ですが、他の文化圏ももちろんあります。また、留学支援講座には平成29年度だけで478名が参加しました。皆さんの多くの仲間や先輩達は、こうして在学中にチャレンジしています。

コミュニケーション力を高め、異文化理解を深めると何が良いのでしょうか。色々な答えがあると思いますが、私は「あなたが活躍できる場所を選択することができる」「多様な文化背景を持つ人々と共存することができ、様々な立場の人を思いやれるようになる」の二点だと思っています。これらの感覚を持つこそ真のグローバル社会で活躍できる自立した社会人(国際人)でしょう。もちろん、日本から出たことのない方々の多くもこうした感覚を持っていると思います。しかし、学生時代に留学した人は、この感覚をはっきりと持つことができます。

目を転じて学内に留学生がいないか探してみましょう。アジアからの留学生もたくさんいますし、欧米その他からも来ていることにすぐ気づくことでしょう。彼らは実際に母国を飛び出して、異国である日本、それも普通の情景の広がる「リアルな日本」を感じる環境の中で、日本語、日本文化、日本のビジネス等を学んでいます。母国に帰国した後は、国や文化の違いを越えて、自立した社会人として活躍しています。日本がホームグラウンドの皆さんにも、必ずできるはずです。国際交流センターでは、キャンパスアシスタントという登録制度を設け、留学生と交流できる機会を提供しています。また、彼らとの交流も、皆さんの現代的感覚を磨くことや語学の練習に有効ですので是非登録して積極的に交流みてはいかがでしょうか。

留学のためにはもちろん語学力は必要です。しっかり準備してください。一方で、語学はコミュニケーションの道具(ツール)です。このツールを活かして「何を成し遂げたいのか」「帰国後はどんなことをしたいのか」を具体的に思い浮かべられるようにしましょう。すぐにしっかりした計画は立たないかもしれませんが。そんな時には、国際交流センターのスタッフが色々とおアドバイスをしてくれるので、気軽に国際交流センターに来てみてください。

語学はツールだと書きましたが、留学を実現してもこの「ツール」を得たことに満足するのではなく、さらに磨きをかけ、あなたのために役立つ「ツール」にしてください。あなたの人生を切り開く立派な道具になるでしょう。

皆さんのチャレンジを期待します。

国際交流センター長
商学部教授 高橋 裕

応募の前に ～海外留学を志す皆さんへのアドバイス～

国際交流センター長
商学部教授 高 橋 裕

留学を志す皆さんが国際交流センターの留学プログラムに申し込む前に、プログラム内容をきちんと理解し、充実した留学を実現してもらいたいと考え、このアドバイスを用意しました。もしかしたら、あなたにとって厳しい注意も含まれているかもしれませんが、大切なことなので現実と自分自身を直視して留学に応募しましょう。

1. 大学の留学プログラムと私費留学(学外の留学プログラム)の違いを認識しましょう。

国際交流センターのプログラムは、単位認定に必要な文部科学省の規定を満たすように設計しています。このため、留学期間が在学期間に算入され、適切な履修計画及び単位修得ができれば4年間での卒業が可能です。

また、当センターの留学プログラムは大学が多面的な補助を行っています。この補助の元となるお金は、学費・寄付金・国等からの補助金であり、皆さんは学内外の方々の資金的な応援を受けて留学ができるのです。このことを忘れず、極めて恵まれた環境で留学できることを理解してください。この他にも専修大学では、協定校との交渉を重ねた結果、多くの協定校(英語圏)でTOEFL ITP®テストスコアでの留学が認められています。本来英語圏への留学には本試験である TOEFL iBT®のスコアが必要であり、1回の受験に2万5千円以上かかります。しかし、TOEFL ITP®テストであれば、学内で年間9回実施しており、生田・神田校舎で受験することができ、受験料も3,600円と受験しやすく、本学の学生に有利な留学の条件を実現しています。

本学で実施する全ての留学プログラム・コースには、「専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)」や国等が援助をしており、専修大学の、そして日本の代表として、国際交流協定校・研修校に派遣されることになります。品位ある行動と、責任を持った主体的学習に努めてください。

2. 応募書類は注意して作成・提出しましょう。

・応募理由を説得的に説明できるようにしましょう。

成功する留学のためには、具体的な留学目標が必要です。そして、その目標は専修大学の代表として相応しいものかどうかよく点検してください。

目標を立てたら、現実的で達成可能な計画やスケジュールを可能な限り具体的に立てましょう。「詳細なスケジュールは行ってみなければ分からない」と思われるかもしれませんが、具体的な計画があれば、それより急ぎ過ぎていたり遅れていたりしていないか常にチェックでき、留学の失敗を防ぐことができます。計画的な留学準備を行い、はじめて留学の実行が可能となるのです。「行けば何とかなる」といった単純な考えではプログラム参加を認めませんし、出発後であっても留学取消しになることがあります。特に交換留学プログラムでは、「派遣先の国が好き」「異文化体験をしてみたい」「自分探しをしたい」といったあやふやな目標では、異国の地でうまくいかないことがあった時に耐え切れなくなります。

・異文化交流の基本は、まず日本語、そして次に外国語です。

語学修得に関しても、目標・計画・実行を意識して行動しましょう。出発直前にはどのくらい出来ているべきか考え、それまでにどんなスケジュールで何を使って学習するべきか考えましょう。バイリンガルでない限り日本語能力の範囲内で外国語を学ぶのです。従って、日本にいる間に日本語で教養を高める努力は必須です。

なお、当センターの中期留学プログラムの目標は語学能力の向上です。英語の場合、一度 TOEFL®を受験すれば、自分の実力が分かりますから、どの能力を何点伸ばすためにどのような学習をすれば良いかという目標設定を考えることができ、学習計画を策定できるようになり、後は実行あるのみです。

・ **長期・セメスター交換留学プログラムでは専門分野の目標設定も必要です。**

交換留学プログラムは留学先で正規の授業科目を履修します。そのため、専修大学における自分の専門分野を意識して、履修科目を決める必要があります。履修計画は、留学先のシラバスを参考にした具体的なものでなければいけません。

例えば、「中世ドイツ史」を専攻する学生ならば、ドイツに留学するのが自然ですから、ドイツ語の準備は当然です。その上に専攻するドイツ史の準備も必要になります。留学前に関連科目を履修しておくのは当然として、日本語で読める関連文献の中から適切なものを数冊読了しておくことも当然の準備です。さらに、原語で入門書を読んでおくことができれば理想的です。

また、留学先大学のホームページ等を確認し、履修予定の科目の教科書がシラバスで公開されているなら、事前に読んでおきましょう。初めは読むのに時間がかかるかもしれませんが、途中からスピードが上がるのが一般的です。辛くても投げ出さずに頑張れば、必ず成功の礎になります。

計画の具体化にあたって、国際交流センターでアドバイスをもらい、教務課の学部窓口にて科目履修の仕方に間違いがないかをよく確認してください。

3. 応募にあたって理解しておきましょう。

・ **国際交流センターは「旅行代理店」ではありません。**

留学手続きは、学生の自己責任で行う必要があります。当センターの役割は、あくまでも皆さんの留学上の指導とサポートです。

派遣先大学並びに派遣先の現地コミュニティは、ルールを守り、現地での慣習に従い、相手のことを理解して生活することを学生に当然求めています。このため、本学から派遣する学生に前述の点で問題がないことを確認する必要があります。例えば、応募の段階から書類の提出を期限通りできるか、記載内容は適切か、集合時間を守るかといった基本的なことができないようでは、現地で責任ある振舞いができるとは考えられません。また、自分の発言に責任を持つことや、コミュニケーションにおいて相手をおもんばかりの社会性は、どんな文化圏でも重視されます。日本でルールを守れない、あるいは日本語できちんとコミュニケーションが出来ない学生は、専修大学の代表として派遣することができません。筆記試験や面接だけではなく、「応募の最初の段階から選考対象になっている」という意識で臨んでください。

もちろん、上記の注意は皆さんを委縮させようとしているわけではありません。ただ、受け答えなどで問題があった時は、教職員がそれを指摘することもあるでしょう。その時は、冷静になって、何が問題だったのかを分析して改善するようにしてください。結果として、それが留学の成功につながります。

・ **選考は多段階で行います。**

選考は上記のとおり受付段階から始まっていると考えてください。応募書類の準備、書類審査、筆記試験、外国語面接試験、国際交流センター委員面接試験等のすべての段階を真摯に受験してください。選考が通ったからといって、それは合格ではなく単に候補者になっただけです。したがって、事前研修等をしっかり受講しなければなりません。事前研修及び各種オリエンテーションへの出席は単位認定の必要条件ですから、事前研修等が修了しなければ、この段階で留学を取り消すことがあることを忘れないでください。そして、現地から日本に帰国して帰国後の手続きを完了し、留学が自分をどう成長させたか、その後の生活に結び付けるところまでが留学プログラムなのです。

以 上

Ⅰ. 海外留学プログラム一覧

<長期交換留学プログラム（第1期）>

【コリア語・中国語・モンゴル語圏】※学部生・大学院生共通

留学先大学	上海大学 (中国)	西北大学 (中国)	国立中山大学 (台湾)	檀国大学 (韓国)	モンゴル国立大学 (モンゴル)
留学期間	平成 31 年 3 月 ～平成 32 年 1 月	平成 31 年 3 月 ～平成 32 年 1 月	平成 31 年 2 月 ～平成 32 年 1 月	平成 31 年 2 月 ～平成 31 年 12 月	平成 31 年 2 月 ～平成 31 年 12 月
派遣人数	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
語学能力 基準	HSK4 級 中国語検定試験 3 級	HSK4 級 中国語検定試験 3 級	HSK4 級 中国語検定試験 3 級	ハングル能力 検定 4 級 韓国語能力試験 TOPIKⅡ (3 級～6 級)	一定以上の語学能力を 有すること
願書提出 締切日	平成 30 年 6 月 20 日 (水)				

【スペイン語・ドイツ語・フランス語圏】※学部生・大学院生共通

留学先大学	マルティン・ルター大学 ハレ・ヴィッテンベルク (ドイツ)	リヨン政治学院 (フランス)	バルセロナ大学 (スペイン)
留学期間	平成 31 年 3 月～平成 32 年 2 月 <集中ドイツ語研修> 3 月	平成 31 年 1 月～平成 32 年 1 月	平成 31 年 2 月～平成 32 年 2 月
派遣人数	若干名	2 名	若干名
語学能力 基準	ドイツ語技能検定試験 3 級	実用フランス語 技能検定試験 3 級 DELF B1	スペイン語検定試験 DELE B1 スペイン語技能検定 4 級
願書提出 締切日	平成 30 年 6 月 20 日 (水)		

【英語圏】※学部生・大学院生共通

留学先大学	ウーロンゴン大学 (オーストラリア)	ワイカト大学 (ニュージーランド)
留学期間	平成 31 年 2 月～平成 31 年 11 月	平成 31 年 2 月～平成 31 年 11 月
派遣人数	2 名	2 名
語学能力 基準	TOEFL iBT 71 点 TOEFL ITP 530 点	TOEFL iBT 71 点 (TOEFL ITP 530 点) IELTS 5.5 【ライティング 5.5 以上、その他の項目で 5.0 以上】
願書提出 締切日	平成 30 年 6 月 20 日 (水)	

<長期交換留学プログラム（第2期）>

【英語・スペイン語圏】

留学先大学	ネブラスカ大学 リンカーン校 (米国)	サスケハナ大学 (米国)	オレゴン大学 (米国)	カルガリー大学 (カナダ)
留学期間	平成31年5月 ～平成32年5月 ＜集中英語研修＞ 5月～7月	平成31年5月 ～平成32年5月 ＜集中英語研修＞ 5月～8月	平成31年6月 ～平成32年3月 ＜集中英語研修＞ 6月～8月	平成31年4月 ～平成32年4月 ＜集中英語研修＞ 4月～8月
派遣人数	若干名	若干名	若干名	若干名
【学部生】 語学能力基準	TOEFL iBT 70 点 TOEFL ITP 523 点	TOEFL iBT 61 点 TOEFL ITP 500 点	TOEFL iBT 61 点 TOEFL ITP 500 点	TOEFL iBT 71 点 TOEFL ITP 530 点
【大学院生】 語学能力基準	TOEFL iBT 80 点	<u>応募できません</u>	TOEFL iBT 80 点	TOEFL iBT 86 点
願書提出 締切日	平成30年11月9日（金）			

留学先大学	【新規】 ブリストル大学 (英国)	ダブリン大学 トリニティカレッジ (アイルランド)	イペロアメリカーナ大学 (メキシコ)
留学期間	平成31年6月～平成32年1月 ＜集中英語研修＞ 6月～8月	平成31年6月 ～平成32年5月 ＜集中英語研修＞ 6月～8月	平成31年5月 ～平成32年5月 ＜集中スペイン語研修＞ 5月～7月
派遣人数	若干名	若干名	若干名
【学部生】 語学能力基準	TOEFL iBT 72 点 【各セクション 17 点以上】 IELTS 5.5 【ライティング 5.5 以上】	TOEFL iBT 61 点 (TOEFL ITP 500 点)	スペイン語検定試験 DELE B1 スペイン語技能検定 4 級
【大学院生】 語学能力基準	<u>応募できません</u>	TOEFL iBT 90 点 【ライティング 21 点】	スペイン語検定試験 DELE B1 スペイン語技能検定 4 級
願書提出 締切日	平成30年11月9日（金）		

<セメスター交換留学プログラム>

【英語圏】※大学院生は応募できません

留学先大学	ネブラスカ大学 リンカーン校 (米国)	サスケハナ大学 (米国)	オレゴン大学 (米国)	カルガリー大学 (カナダ)	ダブリン大学 トリニティカレッジ (アイルランド)
留学期間	平成31年8月 ～平成31年12月	平成31年8月 ～平成31年12月	平成31年9月 ～平成31年12月	平成31年9月 ～平成31年12月	平成31年9月 ～平成31年12月
派遣人数	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
語学能力 基準	TOEFL iBT 71 点 【ライティング 20 点】	TOEFL iBT 80 点 TOEFL ITP 550 点	TOEFL iBT 71 点 TOEFL ITP 530 点	TOEFL iBT 86 点 TOEFL ITP 560 点	TOEFL iBT 90 点 【ライティング 21 点】
願書提出 締切日	平成30年11月9日（金）				

<中期留学プログラム>

【英語圏】※大学院生は応募できません

派遣時期	前 期			
留学先大学	オレゴン大学 (米国)	カルガリー大学 (カナダ)	ウーロンゴン大学 (オーストラリア)	ワイカト大学 (ニュージーランド)
留学期間	平成 31 年 3 月下旬～9 月上旬	平成 31 年 4 月下旬～7 月下旬	平成 31 年 4 月上旬～8 月中旬	平成 31 年 4 月中旬～7 月下旬
派遣人数	10 名	10 名	10 名	5 名
語学能力 基準	TOEFL iBT45 点 TOEFL ITP 450 点	TOEFL iBT45 点 TOEFL ITP 450 点	TOEFL iBT 45 点 TOEFL ITP 450 点	TOEFL iBT 42 点 TOEFL ITP 440 点
願書提出 締切日	平成 30 年 11 月 9 日 (金)			

派遣時期	後 期	
留学先大学	ネブラスカ大学リンカーン校 (米国)	ワイカト大学 + インターンシップ (ニュージーランド)
留学期間	平成 31 年 8 月中旬～平成 31 年 12 月中旬	平成 31 年 8 月上旬～平成 31 年 12 月中旬 ＜インターンシップ＞ 11 月中旬～12 月中旬
派遣人数	10 名	10 名
語学能力 基準	TOEFL iBT 45 点 TOEFL ITP 450 点	TOEFL iBT45 点 TOEFL ITP 450 点
願書提出 締切日	平成 31 年 1 月 18 日 (金)	

【ドイツ語・中国語・フランス語・コリア語・スペイン語圏】※大学院生は応募できません

派遣時期	前 期	後 期			
留学先大学	ライプツィヒ大学 (ドイツ)	上海大学 (中国)	檀国大学 (韓国)	リミエール・リヨン 第 2 大学 CIEF (フランス)	イバメリカナ大学 (メキシコ)
留学期間	平成 31 年 5 月上旬～8 月下旬	平成 31 年 9 月上旬～ 平成 32 年 1 月上旬	平成 31 年 8 月上旬～12 月下旬	平成 31 年 9 月上旬～12 月下旬	平成 31 年 8 月上旬～12 月中旬
派遣人数	5 名	5 名	5 名	3 名	5 名
語学能力 基準	ドイツ語技能 検定試験 4 級	HSK3 級 中国語検定試験 4 級	ハングル能力検定 5 級 韓国語能力試験 TOPIK I (2 級以上)	実用フランス語 技能検定試験 4 級 DELTA/DALF- A2	スペイン語検定試験 DELE A2 スペイン語技能検定 5 級
願書提出 締切日	平成 30 年 11 月 9 日 (金)	平成 31 年 1 月 18 日 (金)			

II. 専修大学国際交流センター

スタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

「専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)」とは、国際交流センター主催の留学プログラムに関わる各種経済的支援を総称したものです。留学中の学生の経済的負担を軽減するための奨学金・補助金制度が充実しています。

<長期・セメスター交換留学プログラム>

- 専修大学交換留学奨学生

専修大学交換留学奨学生規程に基づき、学術研究を奨励し、国際交流を促進するための経済援助を行うことを目的とし、留学先大学に支払うべき学費の一部または全部が免除される。

- 専修大学長期交換留学プログラム補助金

長期交換留学生の経済的負担を軽減し、グローバル人材の育成を支援するため補助金を支給する。補助金は、北中米・欧州 12 万円、オセアニア 9 万円、アジア 7 万円とする。ただし、独立行政法人日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金との併給はできない。また、補助金額は変更になる場合がある。

- 専修大学セメスター交換留学プログラム補助金

セメスター交換留学生の経済的負担を軽減し、グローバル人材の育成を支援するため補助金を支給する。補助金は、北中米・欧州 9 万円とする。ただし、独立行政法人日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金との併給はできない。また、補助金額は変更になる場合がある。

- 専修大学育友会交換留学生援助金

外国の大学に留学する専修大学生が創立者のスピリットを継承し、「社会知性の開発」に勤しみ 21 世紀における国際社会において有為なる人材となることを期待・支援すべく、専修大学育友会より一部学部（二部学部及び大学院を除く）に在学する交換留学生を対象に支給される（長期交換留学生 5 万円、セメスター交換留学生 3 万円）。ただし、他の奨学金（専修大学交換留学奨学生を除く）との併給はできない。

- 独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援制度（協定派遣）奨学金

海外の大学との学生交流に関する協定等に基づいて 1 セメスター以上 1 学年以内の間に派遣する学生に対し、独立行政法人 日本学生支援機構が支給する奨学金（月額 6～8 万円※地域により異なる。）であり、選考により候補者を同機構に推薦する。本奨学金に採用された場合、上記専修大学長期交換留学プログラム補助金、専修大学セメスター交換留学プログラム補助金及び専修大学育友会交換留学生援助金は併給できない。

【平成 31 年度 長期交換留学プログラム(第 1 期)】支給枠なし

【平成 31 年度 長期交換留学プログラム(第 2 期)／セメスター交換留学プログラム】

2019 年 1 月頃に確定する大学別の枠数に基づき、同機構の応募条件を満たす該当者を推薦する。

- ネブラスカ大学リンカーン校長期交換留学特別奨学生

ネブラスカ大学リンカーン校に留学を希望する学生のうち、成績優秀者に対して、集中英語研修期間中の授業料及び滞在費（\$11,000 相当）が免除される。

- サスケハナ大学長期交換留学特別奨学生

サスケハナ大学に留学を希望する学生のうち、成績優秀者に対して、集中英語研修期間中の授業料（\$6,200 相当）が免除される。

＜中期留学プログラム＞

● 専修大学中期留学特別奨学生

中期留学特別奨学生とは、中期留学プログラムにより派遣する学生で、成績・人物優秀者に対して、下記の留学先大学 3 校については国際交流協定に基づき現地授業料を免除するものです。

記

1. 留学先大学

ネブラスカ大学リンカーン校、檀国大学、イベロアメリカーナ大学

2. 選考基準

(1) 学業成績優秀者

ただし、ネブラスカ大学リンカーン校は、次のいずれかの条件を満たしていることとする。

① 選考時において語学能力が TOEFL ITP 500 点 以上または TOEFL iBT 61 点 以上の者

② 学業成績平均点（選考までに確定している成績の累計）が 80.0 点以上の者

(2) 人物優秀であり、留学目的及び学習計画が明確で留学による効果が期待できる者

(3) 帰国後、次年度候補者へのアドバイザーや募集説明会、海外留学・国際交流フェア等に協力できる者

3. 選考方法

国際交流センター委員会で報告した選考結果に基づき、国際交流センター長が決定する。

4. 採用人数

若干名（協定校との協議により決定するため、上記基準を満たす者が全て採用されるとは限らない。）

5. 支援内容

授業料が免除される。

※滞在費、施設費、テキスト代、航空運賃、海外旅行保険料等は個人負担となる。

【参考】平成 30 年度授業料

ネブラスカ大学リンカーン校…US\$5,040≒540,000 円（US\$1=¥107 で計算）

檀国大学…₩2,000,000≒200,000 円（₩100=¥10 で計算）

イベロアメリカーナ大学…US\$900≒97,000 円（US\$1=¥107 で計算）

6. 備 考

この奨学金の対象者は、専修大学中期留学プログラム補助金を併給することはできない。

● 専修大学中期留学プログラム補助金

中期留学生の経済的負担を軽減し、グローバル人材の育成を支援するため補助金を支給する。補助金は、北中米・欧州 7 万円、オセアニア 5 万円、アジア 4 万円とする。ただし、上記中期留学特別奨学生に採用された場合、本補助金は併給できない。また、補助金額は変更となる場合がある。

＜寮内留学プログラム＞

● 専修大学寮内留学プログラム補助金

専修大学寮内留学プログラム参加者の経済的負担を軽減し、グローバル人材の育成を支援することを目的として、前期は 7 万円、後期は 9 万 2 千円の補助金が支給される。

なお、補助金額は変更となる場合がある。

Ⅲ. 留学準備

留学計画

留学を成功させ、実り多いものにするためには、早めにプランを立て準備や手続きを周到に行い、着実に進めていくことが重要です。また、応募にあたり現地で正規授業を履修するための語学能力を身につけていなければなりません。

そこで、どのように準備をすれば在学中に留学を実現できるのか、以下に参考例として留学までの準備のパターンを紹介します。



STEP 1	●留学の目的を明確にする ➤ どの留学プログラムに参加したいのか、留学先で何を学びたいのか、どんなことを経験したいのか、帰国後に留学経験をどのように活かすのかを明確にする
STEP 2	●情報収集をする ➤ 「留学説明会（昼休み）」や「海外留学・国際交流フェア（4月・10月）」に参加 ➤ 留学先大学のホームページもチェック ➤ プログラムの種類や留学先大学について知り、目的や期間、費用など自分に合った留学を探す
STEP 3	●応募条件のチェック、クリア ➤ 語学力のチェック ➤ 学業成績のチェック ➤ 留学経費のチェック
STEP 4	●留学準備 ➤ Language Skills Program の受講や CALL 教室を利用して語学力アップ ➤ 留学に向けて専門科目の知識を深める ➤ アルバイトで留学費用を貯める
STEP 5	●応募 ➤ 「応募書類記入説明会」に参加、必要書類の準備 ➤ 応募条件を満たし、応募

2年次に長期交換留学（第2期）にチャレンジする場合＜英語圏＞	
1年次 4月	「留学説明会」「海外留学・国際交流フェア」に参加
5月 ～7月	留学の応募条件をクリアするため、Language Skills Program を受講し、TOEFL スコアを取得
8月 ～9月	夏期留学プログラムに参加し、語学と異文化に親しむ
10月 ～12月	Language Skills Program を受講し、交換留学を目指してアカデミック・スキルを磨く 応募条件をクリアして長期交換留学プログラムに応募し、学内選考で候補者に決定する
1月 ～3月	オリエンテーション・事前研修に参加する 留学先大学へアプリケーションを送付し、晴れて入学許可がおりる ビザ取得等渡航準備
2年次 4月	出発

3 年次に長期交換留学（第 1 期）にチャレンジする場合＜英語以外の外国語圏＞	
1 年次 4 月	「留学説明会」「海外留学・国際交流フェア」に参加
5 月 ～9 月	語学力の向上、留学に必要な語学能力基準を満たすため、語学能力検定に挑戦し見事合格
10 月 ～12 月	異文化理解を深めるため寮内留学プログラムに応募
1 月 ～3 月	キャンパスアシスタントとして、留学生との交流を図る
2 年次 4 月	寮内留学プログラム（前期）に参加し、異文化理解を深める
5 月 ～7 月	長期交換留学プログラムに応募し、学内選考で候補者に決定する
8 月 ～12 月	オリエンテーション・事前研修に参加する 留学先大学へアプリケーションを送付し、晴れて入学許可がおりる ビザ取得等渡航準備
1 月 ～3 月	出発

Language Skills Program (LSP) について

国際交流センターでは、留学を目指し学習をすることができる多彩な留学支援講座（LSP）を実施し、平成 29 年度は年間で **478 名** の学生が受講しました。英語圏の留学に必要な TOEFL®テストの対策を行う「TOEFL ITP®テスト対策講座」、会話力の向上をはかる「大学生からはじめる英会話講座」、またグローバル社会で活躍できる基礎力を付ける「グローバル人材育成講座」と様々な目的と段階に応じた講座を受講できます。

※国際交流事務課にて配付している、「専修大学 海外留学・国際交流ガイド 2018」では、LSP カリキュラムマップ（P. 11～P. 14）を掲載していますので、そちらもチェックしてみてください！

まずは TOEFL ITP®スコアを取得したい場合は・・・

☞TOEFL ITP®テスト対策講座 **初級 中級 上級**

TOEFL を受験したことのない学生から、よりレベルアップを目指す中・上級レベルの学生まで、それぞれの目標点数に合わせた対策を行う講座です。

☞TOEFL®セミナー（夏期特訓）/ TOEFL®セミナー（春期特訓） **初級 中級**

夏期休暇（8 月中旬～9 月中旬）及び春期休暇（2 月）を利用した、3 週間の短期集中講座です。休暇期間を有効に活用し、TOEFL のスコアアップを目指します。

☞TOEFL iBT®テスト対策講座 **上級**

TOEFL iBT®テストのスピーキングセクションに特化した上級者向けの講座です。限られた時間内で自分が主張したい内容やその根拠をまとめ、理論的に話すトレーニングを行います。

留学に向けて英語でのコミュニケーション力を身につけたい場合は・・・

☞大学生からはじめる英会話講座 初級 中級

外国人講師による英語コミュニケーションクラスです。身近な話題をテーマに、外国人講師と少人数クラスで楽しく英会話をしながらスピーキング力を高めていきます。

☞[グローバル人材育成講座]最新ニュースで実践英会話 上級

話題になっているニュースの中から講座受講生がトピックを持ち寄り、社会問題や時事問題の記事を読み、内容について説明したり、ディスカッションを行いながらワンランク上の英会話力を養います。

将来的にグローバルに活躍することを目指す人には・・・

☞[グローバル人材育成講座]留学準備講座～グローバルマインドセット～ 中級

海外生活に必要な異文化理解を深め、異文化間コミュニケーションに必要なグローバルな思考を養い、異なる価値観や文化背景を持つ人々と円滑なコミュニケーションをとるためのスキルを学びます。

☞[グローバル人材育成講座]基礎から学ぶアカデミックライティング 初級

ライティングは留学のみならず、グローバルに活躍するには必須となるスキルです。講座では、英文独特のパラグラフの組み立てから学び、最終的には説得力のあるエッセイライティングのスキルを身に付けます。

語学能力試験について

留学を希望する際、語学力が問われるのは言うまでもありません。生活に必要な最低限の語学力はもちろん、現地で授業に参加するため、より高度なレベルの語学力が必要となります。

本学では留学支援の一環として、年間9回の TOEFL ITP®テストを実施しています。TOEFL ITP®テストは学内で団体受験できる世界共通の英語能力テストです。学内で申込、受験でき、受験料も TOEFL iBT®テストに比べて安価です。

平成30年度 TOEFL ITP®テスト日程表

実施回	生田校舎		神田校舎	申込・納金期間	備 考
	平日 試験日	土曜 試験日	試験日		
第1回	4/25(水)	4/21(土)	4/25(水)	4/2(月)～4/20(金)	
第2回	5/29(火)	6/2(土)	6/1(金)	5/7(月)～5/25(金)	・長期交換留学プログラム(第1期)申込可能最終試験
第3回	7/26(木)	7/21(土)	7/24(火)	5/28(月)～6/22(金)	
第4回	9/19(水)			6/25(月)～7/13(金)	
第5回	9/24(月)	9/22(土)	9/24(月)	7/16(月)～9/21(金)	・中期留学プログラム(前期)帰国学生受験
第6回	10/9(火)	10/13(土)	10/10(水)	9/24(月)～10/5(金)	・長期交換留学プログラム(第2期)申込可能最終試験 ・セメスター交換留学プログラム申込可能最終試験 ・中期留学プログラム(前期)申込可能最終試験
第7回		11/17(土)	11/16(金)	10/15(月)～11/15(木)	
第8回	12/19(水)	12/22(土)	12/21(金)	11/19(月)～12/14(金)	・中期留学プログラム(後期)申込可能最終試験 ・中期留学プログラム(後期)帰国学生受験
第9回	*3/26(火)			1/8(火)～1/28(月)	

1. 申込方法：①証紙券売機で証紙（TOEFL ITP®テスト受験料）を購入。

②購入した証紙を国際交流事務課・神田教務課・二部事務課に持参。

③申込書に証紙を貼付し、必要事項を記入後、提出。

④受験票を受領し、試験当日に持参。

※神田校舎の学生は、国際交流事務課窓口開設日に申込みをするか、教務課または二部事務課窓口でも受け付けています。

2. 受験料：3,600 円

3. 試験時間：平日実施日 16:35-19:00 頃（生田校舎）16:45-19:10 頃（神田校舎）

土曜実施日 9:30～12:00 頃

*第4回及び第9回は生田校舎のみで 10:30～13:00 頃に実施します。

*同一回を重複して受験することはできません。

4. TOEFL ITP®テストの結果で応募できる専修大学の留学プログラム：

交換留学プログラム（一部の大学を除く） 500 点～／530 点～

中期留学プログラム 440 点／450 点

春期留学プログラム 430 点

その他 TOEFL ITP®テストの詳細については、国際交流事務課にて配付している「平成 30 年度 TOEFL ITP®テスト実施要項」を確認してください。

Language Skills Program 特別奨学生制度

TOEFL ITP®テストを受験して、520 点以上のスコアが取得できれば、次期開講予定の『グローバル人材育成講座』を無料で受講できる制度です。『グローバル人材育成講座』は中期留学・長期交換留学の夢への手助けとなる講座です。TOEFL ITP®テストをできるだけたくさん受験し、留学に必要なスコアを取得するだけでなく、是非本奨学生を目指しましょう！

Language Skills Program 特別奨学生は下記の条件を満たしていることが必要です。条件を満たして、Language Skills Program 特別奨学生を希望する学生は、国際交流事務課窓口にて所定の用紙を記入し申込手続きを行ってください。

① 学内で実施する TOEFL ITP®テストにおいて 520 点以上を取得した者

※平成 30 年 4 月以降に受験したスコアで講座申込締切日より 6 ヶ月以内に取得したスコアを有効とする。

② 専修大学の留学プログラムへ参加を希望している者

③ 人物優秀であり、講座受講による効果が期待できる者

④ 講座受講後、留学を目指す候補者へ学習のアドバイスや講座説明会、海外留学・国際交流フェア等に協力できる者

留学準備

留学生生活をより効果的に成功へと導くには、アカデミック・スキルという大学生活を成功させるためのテクニックを知っておく必要があります。たとえ語学能力がある人でもアカデミック・スキルを知らなければ、大学生活に馴染むのに時間がかかるとさえ言われています。具体的には、論文やレポートの書き方、ノート・テイキング（ノートの取り方）、プレゼンテーション、リサーチ、討論の仕方などです。

アカデミック・スキルの習得は、留学には必要不可欠と言えます。また、毎回の授業では宿題として膨大な量のページを読むように指示されます。要点を的確に捉え内容を把握する速読テクニックは、山のような宿題を消化するために欠かすことはできません。

以下では留学に必要なアカデミック・スキルとそれらを修得するために有効な Language Skills Program を紹介します。

＜アカデミック・スキル＞

● レポートの作成

多くの留学経験者が、留学して特に苦勞するのは予習として出される **reading assignment** とレポートの提出だと語っています。一つの科目だけで各学期間に多いときで3～4回のレポート提出を要求されます。

このレポート提出を怠ると単位取得に大きな影響を及ぼします。もちろんレポートは自分の意見を用いて作成しなければなりません。そのためには日頃から日本で学んでいる事柄や日常の出来事について自分なりの考えや意見を持ち、理論的にまとめる力を養うことが必要でしょう。

【スキルの修得に役立つ LSP】 [グローバル人材育成講座] 基礎から学ぶアカデミック・ライティング

● パソコンの活用

レポート作成には、ほとんどパソコンを使用して作成することになります。通常、大学や寮のコンピュータールームを利用できますが、各自パソコンを持参することを薦めます。また外国語での作成に慣れるまで時間がかかりますので、早く正確に英文タイピングができるよう留学前から身に付けておくことを勧めます。

● 図書館の利用

留学を成功させる秘訣の一つは、図書館を上手に利用することであると言われています。一般的に、海外の大学図書館は開館時間が長く、夜中の12時や1時頃まで利用できる大学も珍しくありません。図書館には閲覧室をはじめ、図書検索システム、コピー室、コンピューター資料室、マイクロフィルム室、視聴覚室などがあります。図書館の機能を早く熟知し、効果的に利用することを勧めます。

● ノートの取り方 (Note-Taking)

授業の内容をノートに取ることも、留学生活で苦勞することの一つに挙げられます。それは単に教授が黒板に書いた内容を書き写すだけの作業ではなく、教授が説明している内容を「耳」で聞いて、重要なポイントをメモしなければなりません。特に、テキストのない授業では大変な思いをするものです。現地の学生はすらすら書き取っているのに、留学生はなかなか書くのが追いつかないということもしばしばあるようです。過去の留学生の中には、授業で **keywords** だけを書いておき、後で図書館に行って **keywords** を調べ、授業を録音して（※担当教授の許可が必要）、復習しながらノートを作る人もいました。最近では、IC レコーダーで授業内容を録音し、その後何度も聞き返すという学生もいます。

このことから、留学を考えている学生であれば、普段の日本での授業でも内容を深く理解し、効果的なノートの取り方を会得することが必要です。そして語学的な側面から、聴解力の強化は必須条件と言えるでしょう。

【スキルの修得に役立つ LSP】 [グローバル人材育成講座] TOEFL ITP®テスト対策講座

● プレゼンテーションスキル

海外、特に欧米の大学では、授業で学生がプレゼンテーションを行う機会も多く、日本人学生は語学力不足に加えてプレゼンテーション自体にも慣れていないため、戸惑ったという体験談をよく耳にします。これには日本と欧米の授業形態の違いが影響していると考えられます。教授が説明し、学生が聞いて理解するという講義形式の科目が多い日本に対し、欧米では自分の意見を明確に伝える、主張するための訓練を子供の頃から受けています。

対策としては、自分の意見や主張を他人に伝えるための言語表現を身に付けることはもちろん、普段から新聞を読むなど身近な社会問題に関心を持ち、それに対する自分自身の考えをまとめる訓練をしておくといいでしょう。母国語は外国語を学ぶ上での土台となります。まずは、日本語で意見を明確に伝えることができる訓練をしておきましょう。母国語でもできないことが、いきなり外国語で出来るようになることはありません。また、プレゼンテーション用ソフト（パワーポイント等）の使い方もマスターしておけば万全です。

【スキルの修得に役立つ LSP】 [グローバル人材育成講座] 最新ニュースで実践英会話

＜コミュニケーション能力について＞

多くの留学経験者が語るように、留学中に苦労したこととして語学力不足の次に挙げるのがコミュニケーション能力の不足です。言葉がおぼつかなくても積極的に自分からコミュニケーションをとることを心掛けましょう。親しくなるうちに伝えたいことも増え、相手の言うことも理解しようと努めるのでどんどん言葉も上達します。友達ができないと、教室が急に変更になったことや授業の参考になる本のことなど、日常生活、学校生活に必要な情報が入りにくくなります。そればかりか、付き合いが狭くなって留学の楽しみが半減してしまいます。そうすると、勉強の辛さにも耐えられなくなったり、毎日が憂鬱になったりして、結果的に留学が失敗することにもなりかねません。

コミュニケーションの手段となる外国語については、日本人が気にしているほど他人の発音や上手下手を問題にはしていません。とにかく、積極的に会話に参加することが大切です。

【スキルの修得に役立つ LSP】〔グローバル人材育成講座〕最新ニュースで実践英会話

〔グローバル人材育成講座〕留学準備講座～グローバルマインドセット～

＜留学先国と日本の事情を知る＞

「留学」というと、すぐに留学先国の事情を学ぼうとするものですが、海外で意外と必要になるのは自国（日本）の情報です。現地の人達はもちろん、各国の留学生達は自分の国のことを実によく知っています。数字を挙げて客観的に説明する他国からの留学生に圧倒されたという留学経験者は大勢います。歴史、政治、経済、文化、伝統、習慣、国際的に話題になっている事柄など、広い範囲にわたる教養と知識は是非とも身に付けておきたいものです。

情報が氾濫している今日においては、雑誌をはじめ新聞やインターネット等のマルチメディアを通して、日常生活の中で得られることはたくさんあります。少なくとも新聞を読んでいないようでは留学を目指す学生としては失格といえるでしょう。

また、自国の事情をよく理解すると同時に、留学先国の歴史や経済、社会、文化なども合わせて学習しておくべきでしょう。

【スキルの修得に役立つ LSP】〔グローバル人材育成講座〕最新ニュースで実践英会話

＜情報収集＞

留学の準備をする上で、ホームページの閲覧による情報収集は必要不可欠です。特に協定校のホームページは、授業のカリキュラムや開講科目・講義要項、図書館・ヘルスセンター・学生会館等キャンパス内の施設、学生寮、生活面に関する情報など多岐に渡っています。各協定校のホームページは国際交流センターのホームページ（URL：<https://www.senshu-u.ac.jp/global/efforts/partner.html>）からリンクしていますので、積極的に情報収集をしましょう。

＜事前研修＞

本学では、協定校に留学する学生に対して、大学で授業を受けるために必要な語学力やスキルを養成するため、事前研修を実施しています。ここでは、講義の参加の仕方やノート・テイキングをはじめ、日本人学生にとって経験の少ない論文やペーパーの書き方、リサーチの方法、ディスカッション、プレゼンテーションの方法等を学習します。さらには、留学にあたって心掛けなければならないこと、あるいは事前に知っておくべき外国での大学生活、寮生活等、留学生生活を有意義に過ごすにはどうすべきかということまで学びます。また、語学研修のみならず、留学経験者を迎えて、留学前・留学中・留学後の様々な話を聞き、留学の目標設定を行う「留学 OB/OG による講演会」や海外生活に必要な危機管理意識を高める「海外安全セミナー」も実施しています。

なお、事前研修は必要最低限の時間数を設定しています。事前研修で学んだ内容を基に、出発直前まで自主学習に取り組み語学力の強化に努めてください。

また、前述の国際交流センター主催 Language Skills Program（留学支援講座）で事前に英語力を強化しておくことを強くお勧めします。英語以外の外国語圏に留学する学生は、積極的に CALL 教室を利用して語学学習に努めましょう。

＜カルチャーショックと異文化適応＞

- カルチャーショックとは？

異なった国の環境・文化の中で生活するとき、言葉や習慣や行動様式など、今まで自分の国や文化で培ってきたものが通用しなくなることに對して起こるショック状態がカルチャーショックです。何度も海外生活を体験した人でもカルチャーショックは全くないとは言い切れないでしょう。それは表面上の些細なことにとどまらず、場合によっては自分自身を否定される（ように受け止めてしまう）深刻なケースもあります。

カルチャーショックの程度によっては体の調子にも現れます。例えば、疲労感が抜けない、神経質になる、すぐ腹が立つ、あせり・不安を感じる、憂うつになる、睡眠不足になる、摂食障害・対人恐怖症に陥るなど様々な症状があります。

- 異文化適応

大切なのは、こうした症状は異文化適応の一つの過程だということ、自分だけではなく誰にでも起こりうる自然なことなのだという、滞在期間中に何回かカルチャーショックを感じる波があることなどの認識をしておくことです。

例えば、見るもの聞くものが新鮮な時期を過ぎると、だんだん周囲の人々に疑問や反発を感じたり、敵意を抱いたりします。しかし、そうした問題は時間の経過とともに次第に解決され、現地の生活に適応していくことが多いのですが、その後、再び複雑な問題に直面し、落ち込むといったことを何回か繰り返すのです。そして、そのような症状に気づいたら、身近にいる留学生アドバイザーや友人などに遠慮なく相談しましょう。また、ひどく体調を崩したり精神的にも落ち込んだりした場合には、可能であれば、一時帰国が回復の助けとなることもあります。

カルチャーショックを肯定的に受けとめること、すなわち、「違いを違いとして認めること」ができ、「ここではそうなのだ」と思えて、自分なりにその困難を乗り越えることができれば、自国と他国の長所と短所を冷静に比較できる目を持つことができるようになります。さらに、どちらの文化でも状況に応じて臨機応変に自分の行動を使い分ける能力が培えるようになるでしょう。誰でも一度は通る道ですので、自分の期待や理想と現実とのギャップを客観的に判断し、ひとり思い悩まずに積極的に留学生アドバイザーやカウンセラーに相談するとよいでしょう。

『海外留学の手引き 2003/2004』（(財)日本国際教育教会（現（独）日本学生支援機構）留学情報センター編・発行 2004 年）より抜粋

＜麻疹（はしか）等の予防接種について＞

留学先大学によっては、留学生に麻疹等の予防接種を義務付けている場合があります。まずは、抗体検査を受け抗体の有無を確認し、予防接種を受けたことのない学生や抗体がない学生は、留学前にワクチンを接種しなければなりません。予防接種を受けずに渡航すると、留学先で接種することになり、場合によっては接種が確認できるまで授業に出席できない場合もあります。詳細は国際交流事務課まで問い合わせてください。

IV. 長期交換留学プログラム

長期交換留学プログラムとは

本学在学中に約 1 年間、国際交流協定校に留学し、協定校で開講されている正規授業科目を履修し、留学先大学にて単位を修得してくるプログラムです。留学先にて修得した単位は審査の上、本学開講科目の単位に振り替えることができます。休学することなく、1 年間留学をすることができるプログラムです。

現在本学では、14 か国・地域 17 大学でプログラムを実施しています。各留学先大学の詳細については、後述の大学別ページを参照してください。



応募条件

留学目的を含めた十分な留学計画を立てた上で、協定校への 1 年間の留学を目指してください。ここでは、長期交換留学プログラムの募集概要について詳しく説明をします。質問や不明な点、または留学に関する相談等があれば、ガイドブックを一読後、国際交流事務課まで問い合わせてください。

① <英語圏の大学>

語学能力が留学先大学の要求している基準を満たしている者。(TOEFL を 2 回以上受験し、上位スコア 2 回分の平均点が TOEFL iBT 61 点以上または TOEFL ITP テスト 500 点以上でなければならない。

また、うち 1 回は留学先大学が要求する基準以上のスコアを指定された TOEFL 形式 (iBT/ITP) で取得していなければならない。なお、TOEFL iBT 及び TOEFL ITP テストを各 1 回受験した場合の平均点は、換算表に従ってどちらか一方の形式によるスコアに合わせることにする。)

※ただし、ブリストル大学に申込をする場合は、IELTS の語学能力基準を満たしていなければならない。また、ワイカト大学については IELTS の語学能力基準での申込も可とする。

※応募の際に第二・第三希望校を選択する場合は、第二希望校及び第三希望校の語学能力基準も満たしていなければならない。

※TOEFL 及び IELTS スコアについては願書提出締切日より 1 年以内に受験したスコアを有効とする。

【学部生】

留学先大学	語学能力基準
ネブラスカ大学リンカーン校 (※1)	TOEFL ITP 523 点 / TOEFL iBT 70 点 (ライティング 20 点)
サスケハナ大学	TOEFL ITP 500 点 / TOEFL iBT 61 点
オレゴン大学	TOEFL ITP 500 点 / TOEFL iBT 61 点
カルガリー大学 (※1)	TOEFL ITP 530 点 / TOEFL iBT 71 点
ブリストル大学 (※1)	TOEFL iBT 72 点 (各セクション 17 点以上) / IELTS 5.5 (ライティング 5.5 以上)
ダブリン大学トリニティカレッジ	TOEFL iBT 61 点
ウーロンゴン大学 (※1)	TOEFL ITP 530 点 / TOEFL iBT 71 点
ワイカト大学 (※1)	TOEFL iBT 71 点 / IELTS 5.5 (ライティング 5.5 以上、各セクション 5.0 以上)

【大学院生】

留学先大学	語学能力基準
ネブラスカ大学リンカーン校（※1）	TOEFL iBT 80 点
オレゴン大学	TOEFL iBT 80 点
カルガリー大学	TOEFL iBT 86 点
ダブリン大学トリニティカレッジ	TOEFL iBT 90 点（ライティング 21 点）

※1 交換留学生受入基準と正規授業を履修するための語学能力基準が、留学先大学によっては別途決められている場合があります。詳細は後述の大学別ページを参照してください。

【注意】語学能力基準は、留学先大学の事情によって変更になることがあります。

＜英語圏以外の大学＞

語学能力基準を満たしている者。なお、検定試験については、願書提出締切日より2年以内に受験したものを有効とする。※ただし、語学能力基準を満たしていない場合は、同等以上の語学能力を有すると認められる者とし、筆記試験により語学能力を判断する。また、本学で開講している留学先言語の外国語科目（初級 101・102、選択 101、中級 201・202、中級プラス 201・202、上級 301、初級基礎・構造・会話、中級総合・演習・会話、上級演習のいずれか2単位）を履修することとする。なお、履修していない者については、留学前または留学後に当該科目を履修することとする。

【学部生・大学院生共通】

留学先大学	語学能力基準
上海大学 ※学部生のみ	HSK4 級・中国語検定試験 3 級
西北大学	HSK4 級・中国語検定試験 3 級
国立中山大学	HSK4 級・中国語検定試験 3 級
檀国大学	ハングル能力検定 4 級・韓国語能力試験 TOPIK II（3 級～6 級）
モンゴル国立大学	一定以上の語学能力を有すること。
マルティン・ルター大学ハレ・ヴァイツェンベルク	ドイツ語技能検定試験 3 級
リヨン政治学院	実用フランス語技能検定試験 3 級・DELF B1
バルセロナ大学	スペイン語検定試験 DELE B1・スペイン語技能検定 4 級
イベロアメリカーナ大学	スペイン語検定試験 DELE B1・スペイン語技能検定 4 級

【注意】語学能力基準は、留学先大学の事情によって変更になる場合があります。

【学部生】

② 留学目的が明確であり、応募時において2年次以上の者。

ただし、第2期（ネブラスカ大学リンカーン校、サスケハナ大学、オレゴン大学、カルガリー大学、ダブリン大学トリニティカレッジ、ブリストル大学、イベロアメリカーナ大学）への長期交換留学希望者は1年次でも応募可能。

③ 学業成績の平均点が70.0点以上の者。

なお、学業成績の平均点は、選考までに確定している学業成績を基に算出する。

④ 心身ともに健康で、異文化に柔軟に適應できる者。

⑤ 経済的な裏付けがあり、保証人の承諾が得られる者。

⑥ 事前研修（有料）を受講可能な者。

※応募時において、4年次以上の学生は申込みできません。

【大学院生】

- ② 本大学院に在学している者。
- ③ 指導教授の推薦が得られる者。
- ④ 語学能力基準及び留学先大学が要求する条件を満たしている者。
- ⑤ 学業成績・人物が優秀な者。
- ⑥ 心身ともに健康で、異文化に柔軟に適應できる者。
- ⑦ 経済的な裏付けがあり、保証人の承諾が得られる者。
- ⑧ 事前研修(有料)を受講可能な者。

応募手続

応募を希望する者は、応募書類を提出する前に、どこの大学へ行きたいか、どのような目的で留学を希望しているのか、希望する留学先大学で自分の所属する学部・学科、研究科に則した科目を履修することができるのかどうか等、国際交流事務課にて適切なアドバイスを受けた上で、応募書類を提出してください。

● 応募書類について

応募書類は、留学プログラム説明会または国際交流事務課にて配付します。留学希望者は受け取りに来てください。

【学部生】

- ① 交換留学プログラム許可願（様式 1-1）
- ② 交換留学プログラム応募理由と留学・学習計画（様式 1-2）
 - 応募理由、留学・学習計画、履修希望科目、留学に向けて進めている準備、帰国後の成果の活かし方及び卒業後の進路計画を記述します。単に語学学習や異文化理解といったことにならず、所属学部・学科、研究科に関わる専門分野の知識を修得し、理解を深めることに重点を置いて書く必要があります。
- ③ 交換留学奨学生願書（様式 2）
- ④ 誓約書（様式 3）
- ⑤ 承諾書（様式 4）
- ⑥ 学業成績証明書（日本語 1 通・英語 2 通）
- ⑦ 英文在学証明書（檀国大学希望者のみ）
- ⑧ 語学能力試験スコア（本書）

英語圏の応募者は、TOEFL または IELTS スコアの提出（本書 2 回分）が必要です。

英語以外の外国語圏の語学能力試験については、スコアまたは合格通知書（本書）を持っている場合のみ提出してください。

※詳細は p. 16 「応募条件①」 参照

⑨ 応募理由（別紙）

留学先国の言語を用いて応募理由を書いてください。A4 サイズの用紙を使用し、1～2 枚（シングルスペース 400 語以上・フォント及び文字サイズ：Century/10.5）でタイプアウトしてください。モンゴル国立大学を希望する者は、モンゴル語もしくは英語で書いてください。なお、パソコンソフトが対応していない言語の場合は、丁寧に手書きしてください。

⑩ 保健調査票

⑪ 健康診断書（願書提出締切日より 3 か月以内に受検したものを有効とする）

協定校に留学する学生が留学先国・大学における学業・生活に支障がないかどうかを確認します。

【受検項目：身長・体重・血圧・検尿・聴打診・胸部 X 線】

上記以外の項目については、各自で判断をしてください。また、長期間海外に滞在するにあたり、本学と留学先大学が特に知っておくべき「既往症」または「現病歴」のある場合にはかかりつけの医療機関において別途受診し、その診断書も併せて提出してください。

⑫ 学業成績通知表（学生返却用）

応募条件として、学業成績の 平均点が 70.0 以上 が必要です。選考までに確定している学業成績の平均点は、事前に所定の用紙を持って所属学部教務課窓口にて確認することができます（所定の用紙は国際交流事務課にあります）。

⑬ 確認書（日本国籍以外の学生のみ）

【大学院生】

大学院生の場合は、前頁の書類の他に大学卒業証明書、大学成績証明書、在学証明書、大学院成績証明書、推薦状（指導教授）、留学目的・計画書等が必要になります。留学先大学によって提出物が異なりますので、募集要項で確認し、国際交流事務課へ相談に来てください。

● 選考から出発までのスケジュールについて

各留学先大学の詳細については、後述の大学別ページを参照してください。

● 留学経費について

本学の制度で交換留学をする学生には、「専修大学交換留学奨学生規程」に基づき、留学先大学に支払う学費の一部または全部が免除されることになります。しかし、本学に在学したまま留学するので、留学当該年度の本学学費は全額納付しなければなりません。

また、その他の費用【集中語学研修授業料（一部大学を除く）・渡航旅費・滞在費・食費・書籍代・医療費・海外旅行保険料・現地大学の学生保険料・お小遣い等】については自己負担になります。留学にかかる費用については個人差もありますが、各留学先大学の紹介ページに記載されている金額とその他費用の合計金額になります。欧米の大学で約 100～290 万円、アジアの大学で 50～150 万円くらいが目安となります。**本学では、留学期間中における現地でのアルバイトを固く禁じていますので、留学にかかる費用については事前に十分検討し、準備する必要があります。**

留学費用の支払い方法については留学先大学により異なりますが、候補者として決定後すぐに、留学に必要な経費を保持している証明（金融機関発行の英文残高証明書※1）を提出しなければならない大学が多くあります。また、多くの留学先国では査証（ビザ）申請時にも大使館に同様の書類を提出する必要があります。そのため、実際の支払いは留学開始後であっても、留学経費及び英文残高証明書は早い段階で必要になりますので計画的に準備してください。

※1. 英文残高証明書については、留学プログラムや留学先によって異なりますが、アメリカの大学の場合 約 US\$20,000～US\$25,000（約 210 万円～280 万円）の残高証明書を提出することになります。

● 留学許可について

留学の許可にあたっては、国際交流センター委員会で審査し、教授会又は大学院研究科委員会の議を経て学長が決定しますが、留学先大学へ候補者として推薦されることであり留学先大学での受入れを保証するものではありません。受入可否の最終判断は留学先大学によって行われます。このため、留学の最終決定までは候補者として位置づけられ、受入れ基準の変更等留学先大学の事情によっては、本学の選考後であっても受入れが許可されない場合もあります。また、留学先国の査証（ビザ）を取得できない場合（留学先大学から入学が許可されない場合も含む）や候補者としての義務が果たされていないと国際交流センターが判断した場合は留学を取消します。なお、候補者は各種オリエンテーション及び事前研修等に必ず出席しなければなりません。最終的に留学許可書が交付された時点で長期交換留学生となり留学が許可されます。なお、候補者決定後の取消しやキャンセルで発生する諸費用については、自己負担となります。

履修登録と単位認定

● 留学前の本学における履修登録

留学中も本学に在籍しているため、留学年度についても4月の所定の期日までに履修登録を完了し、出発前までの期間は、履修登録に従って授業に出席しなければなりません。これは、留学前あるいは留学中にやむを得ない理由により留学を断念しなければならない場合に、履修登録に基づき受講できるようにするためです。

なお、2月から出発する第1期募集の大学に留学する学生に関しては別途指示します。

● 留学先大学における履修登録

長期交換留学生は、長期交換留学プログラム申込み時に提出する学習計画書に沿って、本学の在籍学部・学科・研究科で開講されている科目に読み替えが可能な科目を留学先大学で履修することを基本原則とします。

しかし、語学能力不足等の事由により授業についていくことが困難で、留学先大学のアカデミック・アドバイザーの指示により履修計画を修正せざるを得ない状況が生じるかもしれません。このような場合、本学のアカデミック・アドバイザー（出発前に指定）とも相談の上、事前の計画から変更が生じてもやむを得ないものとしますが、可能な範囲で当初の目的に即したものであることを基本とし、本学在籍学部・学科、研究科で開講されている授業科目に相応した専門科目を履修することが望まれます。

● 帰国後の単位の認定

留学先大学で修得した科目は、学部学生においては60単位（日本語学科及び日本文学文化学科は30単位）、大学院生においては10単位を上限として、認定が可能です。認定される科目や単位数については、留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき審査されますので、留学先で修得した科目が全て認定されるわけではありません。帰国後の単位認定の状況によっては、4年間で卒業できない場合もありますので、留学前には本学での学業に励むと共に、留学先大学での科目の履修について入念に履修計画を立てることが大切です。

ただし、教職・司書・司書教諭・学芸員課程の科目および単位数への振替は行いません。

なお、長期交換留学生は、単位認定に関わる必要な書類を所定の期日までに国際交流事務課へ提出しなければなりません。本学がやむを得ないと判断した場合を除き、所定の期日までに書類を提出できなかった学生の単位認定は原則として行われません。この場合、進級や卒業に支障をきたしますので十分注意してください。なお、進級条件や卒業に必要な単位に関しては、所属する学部・研究科の教務課または大学院事務課窓口において出発前に各自が十分相談しておいてください。

● 帰国後の本学における履修登録

留学先大学で修得した単位の認定後、本学の履修登録を教務課または大学院事務課にて行う必要があります。その際、進級・卒業に必要な科目の履修が正しく行われているかどうか必ず各自で確認してください。

長期交換留学プログラム(第1期)



上海大学
Shanghai University



Shanghai University (上海大学)

参考URL

上海大学

<http://www.shu.edu.cn/>

上海大学国際交流学院

<http://www.cie.shu.edu.cn/cie.html>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
中華人民共和国 上海市	1922 年	市立大学	セメスター制 (2学期)	約 39,000 名

大学のプロフィール

中国・上海市に上海経済建設と社会発展の人材の育成のために 1983 年に設立された市立総合大学である。上海大学は文学部、国際経営学部をはじめ 28 の学部から構成され約 39,000 名の学生が学んでいる。そのうち留学生は、約 4,000 名。キャンパスのある上海市は、中国を代表する、活気にあふれる国際商業都市である。

語学能力基準

HSK4 級・中国語検定試験 3 級あるいは一定以上の中国語能力を有すること。※P. 16～17 参照

募集人数

若干名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
若干名	1 名	1 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
～7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考合格発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月～1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
2月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月～平成32年1月

正規中国語コース: 2月下旬～7月上旬

正規授業: 9月上旬～1月下旬

又は

正規中国語コース

- ◆前期は上海大学国際交流学院で正規中国語コースを受講します。
- ◆前期の正規中国語コース受講後、HSKの試験で5級以上の語学能力があると判断されれば、後期は本科生として正規授業を履修できます。

留学費用(概算)

内訳	中国元	日本円 1元=17で計算
滞在費・食費等	40,200元～	¥685,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥865,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センター・スタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
 - ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
 - ◆専修大学育友会交換留学生援助金
 - ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金
- ※詳細は、P. 7を参照。



長期交換留学プログラム(第1期)



Northwest University (西北大学)

参考URL

西北大学

<http://www.nwu.edu.cn/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
中華人民共和国 西安市	1912 年	国立大学	セメスター制 (2学期)	約 23,000 名

大学のプロフィール

1912 年に設立された大変評価の高い高等教育機関であり、中国の重点大学となっている。キャンパスはシルクロードの出発点である古都西安に位置し、現在 22 学部 83 学科を有する。学生数は大学院生、学部生を含め約 23,000 名。1978 年の改革以来、世界に 100 の姉妹校を有し、研究者、学生の交流が盛んな国際的な大学である。

語学能力基準

HSK4 級・中国語検定試験 3 級あるいは一定以上の中国語能力を有すること。※P. 16～17 参照

募集人数

若干名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
若干名	1 名	1 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日 付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
～7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考合否発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月～1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
2月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月～平成32年1月

正規中国語コース: 2月下旬～7月中旬

正 規 授 業: 9月上旬～1月中旬

又は

正規中国語コース

- ◆前期は西北大学国際文化交流学院で正規中国語コースを受講します。
- ◆前期の正規中国語コース受講後、HSKの試験で一定以上の語学能力があると判断されれば、後期は本科生として正規授業を履修できます。

留学費用(概算)

内 訳	中国元	日本円 1元=17で計算
滞在費・食費等	34,200元～	¥585,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥765,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
 - ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
 - ◆専修大学育友会交換留学生援助金
 - ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金
- ※詳細は、P. 7を参照。



長期交換留学プログラム(第1期)



National Sun Yat-sen University (中山大学)

参考URL

中山大学

<http://www.nsysu.edu.tw/>

中山大学華語教學中心(Chinese Language Centre)

<http://clc.nsysu.edu.tw/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
台湾 高雄市	1980 年	国立大学	セメスター制 (2学期)	約 9,600 名

大学のプロフィール

台湾南部の都市・高雄にキャンパスを持つ中山大学は、1980 年創立の国立総合大学で、学部および大学院は、文、理、工、管理(経営)、海洋科学、社会科学の 6 学院で構成されており、台湾の「重点 7 研究型大学」のひとつに選定されている。学生数約 9,600 名。そのうち約半数は大学院生が占める。国際化には特に力を入れており、30 カ国約 160 校と協定を結んでいる。キャンパスは高雄市郊外の西子湾を臨む高台に位置し、プライベートビーチもある。大学名の中山は台湾の「国父」孫文の号である。

語学能力基準

HSK4 級・中国語検定試験 3 級あるいは一定以上の中国語能力を有すること。※P. 16~17 参照

募集人数

若干名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
若干名	0 名	0 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
~7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考可否発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月~1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
1月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月~平成32年1月

正規授業:2月上旬~6月下旬

正規授業:9月中旬~1月中旬

- ◆Spring SemesterとFall Semesterの正規授業を履修します。
- ◆必要に応じて正規授業と平行して、中国語を高めるために中山大学華語教學センター(Chinese Language Centre)にて中国語研修を受講(別途有料)することが可能です。

留学費用(概算)

内訳	台湾ドル(NT\$)	日本円 NT\$1=3.7で計算
滞在費・食費等	NT\$201,672~	¥750,000~
事前研修費他		¥25,000~
海外旅行保険料		¥155,000~
合計		¥930,000~

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000~¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
 - ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
 - ◆専修大学育友会交換留学生援助金
 - ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金
- ※詳細は、P.7を参照。



長期交換留学プログラム(第1期)



Dankook University (檀国大学)

参考URL

Dankook University

<http://www.dankook.ac.kr/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
大韓民国 龍仁市、天安市	1947 年	私立大学	セメスター制 (2学期)	約 27,000 名

大学のプロフィール

韓国・龍仁市と天安市にキャンパスをもつ私立総合大学である。21学部と大学院では12の研究科から構成されており、全部で約27,000名の学生が学んでいる。また、檀国大学は日本語教育に熱心な大学でもある。2007年にソウルキャンパスから新しく完成した竹田キャンパスに移転した。ソウル近郊の高台に広大なキャンパスを誇る。

語学能力基準

ハングル能力検定4級・韓国語能力試験 TOPIK II (3級～6級) あるいは一定以上の韓国語能力を有していること。

※P.16～17 参照

募集人数

若干名

平成30年度実績

定員	応募者数	派遣者数
若干名	2名	2名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
～7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考合否発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月～1月	事前研修
12月8日(土)	留学OB/OGによる講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
2月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月～平成31年12月

【韓国語研修】

Spring Semester: 3月上旬～6月中旬 (15週間)

Korean Immersion Program: 8月上旬～8月下旬 (3週間)

Fall Semester: 9月上旬～12月中旬 (15週間)

【正規授業】

First Semester: 3月上旬～6月中旬

Second Semester: 9月上旬～12月中旬

- ◆First Semester とSecond Semesterの正規授業を履修し、並行して韓国語研修(Korean Language Program)を15週間、春秋コースを受講します。
- ◆夏期休暇期間中に開講されるKorean Immersion Programを受講できます(受講料US\$1,000が別途かかります)。

留学費用(概算)

内訳	ウォン(₩)	日本円 ₩100=10で計算
滞在費・食費等	₩6,326,400～	¥635,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥140,000～
合計		¥800,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P.7を参照。

長期交換留学プログラム(第1期)



参考URL

National University of Mongolia

<http://www.num.edu.mn/>

National University of Mongolia(英語版)

<http://www.num.edu.mn/en/>



National University of Mongolia (モンゴル国立大学)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
モンゴル ウランバートル市	1942 年	国立大学	セメスター制 (2学期)	約 20,000 名

大学のプロフィール

モンゴルの首都ウランバートルに位置し、5学部23学科に約 20,000 名の学生が学んでいる。特に経済学部は最大の規模を誇り、社会主義市場経済に移行しつつある社会システムの変革に対応しうる人材の育成を精力的に行っており、日本の大学や政府機関との共同研究を進めている。

語学能力基準

一定以上の語学能力を有していること。

※留学を希望する場合は、事前に国際交流事務課に相談してください。

募集人数

若干名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
若干名	0 名	0 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日 付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
～7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考合否発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月～1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
1月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月～平成3年12月

正規モンゴル語コース: 2月上旬～5月下旬

正規モンゴル語コース: 9月上旬～12月下旬

又は

正 規 授 業

- ◆2月上旬から5月下旬までの前期は、正規モンゴル語コースを受講します。
- ◆後期も引き続き正規モンゴル語コースですが、モンゴル語能力により正規授業も履修できます。

留学費用(概算)

内訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
滞在費・食費等	\$1,580～	¥170,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥350,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンスサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P.7を参照。



長期交換留学プログラム(第1期)



参考URL

Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg

<http://www.uni-halle.de/>

Goethe-Institut

<http://www.goethe.de/>

Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg (マルティン・ルター大学ハレ・ウィッテンベルク)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
ドイツ ハレ市	1502 年	国立大学	セメスター制 (2学期)	約 23,000 名

大学のプロフィール

首都ベルリンの南西約150キロのハレ市は、古くからの大学町、作曲家ヘンデルの生誕の地として知られる。ハレ大学は、1502年にプロシヤの改革派大学として創設され、1993年に現在の名称に改名した。法学部、経済学部、哲学部をはじめ18学部を擁するドイツ屈指の総合大学。約23,000名の学生が学んでいる。

語学能力基準

ドイツ語技能検定試験 3 級あるいは一定以上のドイツ語能力を有していること。※P. 16～17 参照

募集人数

若干名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
若干名	1 名	1 名

滞在形式

集中ドイツ語研修期間中はゲストハウス、正規授業期間中は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
～7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考可否発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月～1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
2月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月～平成32年2月

【集中ドイツ語研修】

Intensive 4: 3月上旬～3月下旬

【正規授業】

Sommersemester: 4月上旬～9月下旬

Wintersemester: 10月上旬～2月下旬

- ◆3月は政府公的文化団体のゲーテ・インスティトゥートで集中ドイツ語研修を受講します。
- ◆集中ドイツ語研修終了後、ハレにおいて外国人向けの正規ドイツ語コースを受講しながら、両学期にかけて正規授業を履修することができます。

留学費用(概算)

内訳	ユーロ(€)	日本円 €1=134で計算
集中ドイツ語研修	€2,040～	¥275,000～
滞在費・食費等	€6,435～	¥865,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥1,320,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。



長期交換留学プログラム(第1期)



Sciences Po Lyon (リヨン政治学院)

参考URL

Sciences Po Lyon

<http://www.sciencespo-lyon.fr/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
フランス ローヌ・アルプ地方 リヨン市	1948 年	公立	セメスター制 (2学期)	約 1,800 名

大学のプロフィール

リヨン政治学院は、リュミエール・リヨン第2大学と提携関係にある公的教育機関で、政治学のみならず社会科学全般に関するグランゼコール(フランス独自の教育機関であり、あらゆる学問分野の専門教育と普及を行っている)である。リヨンはパリに次ぐフランス第2の近代都市であり、市街地域の開発によって活気に満ちた都市となっている。

語学能力基準

実用フランス語技能検定試験3級・DEL F B1あるいは一定以上のフランス語能力を有していること。※P. 16~17 参照

募集人数

2 名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
2 名	2 名	2 名

滞在形式

学生寮

フランスでは、一般的に教育機関が独自の学生寮を所有しておらず、CROUS "Centre Régional des Œuvres Universitaires et Scolaires" (クルス=文部省の下部組織で、学生へのサービス・支援を行っている機関)が管理する学生寮に滞在することになります。

選考から出発までのスケジュール

日 付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
~7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考合格発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月~1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
1月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年1月~平成32年1月

前期(正規授業):1月下旬~5月下旬

後期(正規授業):9月中旬~1月上旬

- ◆前期・後期ともに正規授業を履修し、単位を修得します。
- ◆前期・後期の正規授業と並行し、正規フランス語コースを受講します。

留学費用(概算)

内訳	ユーロ(€)	日本円 €1=134で計算
滞在費・食費等	€7,375~	¥990,000~
事前研修費他		¥25,000~
海外旅行保険料		¥155,000~
合計		¥1,170,000~

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000~¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。



長期交換留学プログラム(第1期)



Universitat de Barcelona (バルセロナ大学)

参考URL

Universitat de Barcelona

<http://www.ub.edu/>

Estudios Hispánicos

<http://www.eh.ub.edu/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
スペイン バルセロナ市	1450 年	国立大学	セメスター制 (2学期)	約 63,000 名

大学のプロフィール

1450年創立の国立大学で、約63,000名の学生数を有する。学生数においてカタルーニャ地方最大の総合大学で、スペイン第2の都市バルセロナ市と隣接のオスピタレット市に4つのキャンパスを持つ。図書館の蔵書数は、カタルーニャ州で第一の規模を誇る。国際交流も盛んに行われており、スペイン国内では最大の学生交流数である。バルセロナ市は、商工業地帯として発展を続けており、スペインを代表する世界的な芸術家を多く輩出している文化都市でもある。

語学能力基準

スペイン語検定試験 DELE B1・スペイン語技能検定 4 級
あるいは一定以上のスペイン語能力を有していること。

※P. 16～17 参照

募集人数

若干名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
若干名	0 名	0 名

滞在形式

留学期間中はバルセロナ市内の一般家庭の部屋を間借りする下宿生活となります。

選考から出発までのスケジュール

日 付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
～7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考合格発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月～1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
2月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月～平成32年2月

Primer Semester: 2月上旬～6月下旬

Segon Semester: 9月上旬～1月下旬

◆Primer Semester・Segon Semesterともに、学部の正規授業を受講します。

◆Primer Semester・Segon Semesterの正規授業と並行してスペイン語研修を受講することもできますが、それら語学研修に関わる費用等はすべて自己負担となります。

留学費用(概算)

内訳	ユーロ(€)	日本円 €1=134で計算
滞在費・食費	€9,713～	¥1,305,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥1,485,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。



長期交換留学プログラム(第1期)



UNIVERSITY
OF WOLLONGONG
AUSTRALIA



University of Wollongong (ウーロンゴン大学)

参考URL

University of Wollongong

<http://www.uow.edu.au/>

UOW College

<http://www.uowcollege.edu.au/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
オーストラリア ニューサウスウェールズ州 ウーロンゴン市	1951 年	国立大学	セメスター制 (2 学期)	約 33,000 名

大学のプロフィール

ウーロンゴン大学は、1951 年に創立された国立大学である。人文学部、ビジネス学部、情報理論学部、法学部、教育学部等の 5 学部に約 33,000 名の学生が学んでいる。うち留学生は約 40%。大学のあるウーロンゴン市は、オーストラリアで第 9 番目の都市に数えられ、シドニーから約 80 キロ南方に位置する美しいビーチなど豊かな自然に恵まれた海岸沿いの町である。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。

※詳細は P. 16～17 を参照

TOEFL iBT®71 点/TOEFL ITP®530 点

ただし、正規授業の履修には一定の英語力が要求されている(右記参照)。渡航までに所定のスコアを取得できない場合、正規授業の履修科目が制限される。

募集人数

2 名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
2 名	0 名	0 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日 付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
～7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考合否発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月～1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
2月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月～平成31年11月

Autumn Session: 2月下旬～6月下旬

Spring Session: 7月下旬～11月下旬

- ◆Autumn Session、Spring Sessionともに正規授業を履修し、単位を修得します。
- ◆なお、渡航までに TOEFL iBT® 80 点または TOEFL ITP® 550 点を取得できない場合は、Autumn Session で所定の英語科目の履修が義務付けられます。

留学費用(概算)

内 訳	豪ドル(\$)	日本円 \$1=87で計算
滞在費・食費等	\$14,685～	¥1,280,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥130,000～
合計		¥1,435,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンスサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。



長期交換留学プログラム(第1期)



The University of Waikato (ワイカト大学)

参考URL

The University of Waikato

<http://www.waikato.ac.nz/>

Waikato Pathways College

<http://education.waikato.ac.nz/pathways/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
ニュージーランド ハミルトン市	1964 年	国立大学	セメスター制 (2 学期)	約 13,000 名

大学のプロフィール

1964年に政府の基金により設立された国立大学である。公園のような美しいキャンパスには留学生約2,800名を含む約13,000名の学生が経営学部、教育学部等の7学部で学んでいる。マオリ族の学生が多いのも特徴で、マオリの研究はニュージーランドで最も進んでいると言われている。大学のあるハミルトン市は人口15万人を越え、ニュージーランドで4番目に大きな都市である。市内を流れるワイカト川沿いには公園が多数あり、市民の憩いの場となっている。

語学能力基準

※応募には2回分のスコアが必要です。

※詳細はP.16~17を参照

TOEFL iBT®71 点／

IELTS 5.5 (ライティング 5.5 以上、その他の項目で 5.0 以上)

ただし、正規授業の履修には一定の英語力が要求されている(右記参照)。渡航までに所定のスコアを取得できない場合、Semester A は正規英語コースを受講し、それに伴う費用は自己負担となる。

募集人数

2 名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数
2 名	1 名	1 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日 付	選考・オリエンテーション
4月28日(土)	春の海外留学・国際交流フェア
6月20日(水)	願書提出期限
6月23日(土)	第1次選考(筆記試験)
~7月4日(水)	第1次選考(外国語面接)
7月5日(木)	第1次選考合格発表
7月7日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	第1回候補者オリエンテーション
9月下旬	第2回候補者オリエンテーション
10月~1月	事前研修
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
1月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
2月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年2月~平成31年11月

【TOEFL iBT80点(ライティング20点)／
IELTS 6.0(全ての項目で6.0以上)】

Semester A: 2 月下旬~6 月下旬

Semester B: 7 月中旬~11 月上旬

◆A SemesterとB Semesterの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

【上記スコア以下】

C A A E: 2 月中旬~4 月下旬

General English : 5 月上旬~6 月下旬

Semester B: 7 月中旬~11 月上旬

◆Semester Aは正規集中英語コース (CAAE (Certificate of Attainment in Academic English) を 2 Block受講します。

※費用参考: NZ\$10,719(約¥870,000)

◆Semester A期間中に所定の成績を修めることができれば、Semester Bは専門科目を履修し、正規授業を受講します。

留学費用(概算)

内訳	ニュージーランドドル (\$)	日本円 \$1=81で計算
滞在費・食費等	\$12,144~	¥985,000~
事前研修費他		¥25,000~
海外旅行保険料		¥130,000~
合計		¥1,140,000~

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000~¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センター・スタディアブロード・フィナンシャルサポート制度 (SAFS)

◆専修大学交換留学奨学生

◆専修大学長期交換留学プログラム補助金

◆専修大学育友会交換留学奨励金

◆独立行政法人 日本学生支援機構

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P.7を参照。

長期交換留学プログラム(第2期)



University of Nebraska-Lincoln (ネブラスカ大学リンカーン校)

参考URL

University of Nebraska-Lincoln

<http://www.unl.edu/>

Intensive English Program

<http://www.unl.edu/piesl/iep.shtml>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
アメリカ合衆国 ネブラスカ州 リンカーン市	1869 年	州立大学	セメスター制 (2 学期)	約 25,000 名

大学のプロフィール

米国の中西部の大平原にあるネブラスカ州の州立大学で、その教育水準は州内トップを誇り、多数の学部が全米でも上位にランクされている。広大なリンカーン・キャンパスにはアメリカンフットボール専用の85,000名を収容するメモリアルスタジアムをはじめ、スポーツセンター、劇場、歴史民族博物館などがあり、約25,000名の学生を有する。

語学能力基準

※応募には2回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 16～17 を参照

【学部生】

TOEFL iBT®70 点(ライティング 20 点)／TOEFL ITP® 523 点
ただし、ネブラスカ大学で正規授業を履修するには TOEFL iBT® 70 点(ライティング 20 点)以上の英語力が必要となる。応募時に TOEFL TOEFL ITP スコアを提出した場合、秋学期において正規授業を履修するためには、所定の条件を満たす必要がある(右記参照)。

【大学院生】 TOEFL iBT® 80 点

募集人数

若干名(セメスター交換留学プログラムと調整することがあります。)
平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	2 名	2 名

滞在形式

集中英語研修及び正規授業ともに学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考合格発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
4月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
5月上旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年5月～平成32年5月

【集中英語研修】

Summer Semester: 5月中旬～7月下旬(10週間)

【正規授業】

Fall Semester: 8月下旬～12月上旬

Spring Semester: 1月上旬～4月下旬

- ◆5月中旬から始まるネブラスカ大学リンカーン校の集中英語研修(Intensive English Program)の10週間コースを受講します。
- ◆英語研修終了後、Fall SemesterとSpring Semesterの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

※応募時に TOEFL ITP スコアを提出した者は、集中英語研修中に受ける UNL English Placement Exam (EPE)にて所定の点数以上取得するか現地で前述の TOEFL スコアを取得しなければならない。取得できない場合は、秋学期では正規授業ではなく留学生専用の正規英語コース(CEAP: Credit English for Academic Purposes)を受講することとなり、その費用は自己負担となる。また、CEAP にて所定の成績を取得した場合は春学期にて正規授業を履修するが、取得できなかった場合は春学期においても CEAP を受講することとなる。

正規英語コース費用参考(1学期分):US\$5,191

留学費用(概算)

内 訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
集中英語研修	\$11,000～	¥1,180,000～
滞在費・食費等	\$13,802～	¥1,480,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥2,840,000～ 奨学生:¥1,660,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆ネブラスカ大学リンカーン校長期交換留学特別奨学生
 - ◆専修大学交換留学奨学生
 - ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
 - ◆専修大学育友会交換留学生援助金
 - ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金
- ※詳細は、P. 7を参照。

長期交換留学プログラム(第2期)



Susquehanna University (サスケハナ大学)

参考URL

Susquehanna University
<http://www.susqu.edu/>
English Language Learners Program
<http://www.susqu.edu/campus-life/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
アメリカ合衆国 ペンシルバニア州 セリンズグローブ市	1858 年	私立大学	セメスター制 (2 学期)	約 2,300 名

大学のプロフィール

米国ペンシルバニア州・セリンズグローブ市に位置し、教養学部、経営学部の2学部を持つ。学生は約2,300名。教養学部の教育水準は全米私立大学の中でトップレベルにランクされている。セリンズグローブは米国内で最も美しい渓谷の一つであり、自然環境に恵まれた豊かな街である。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
 ※詳細は P. 16～17 を参照

TOEFL iBT® 61 点 / TOEFL ITP® 500 点

募集人数

若干名(セメスター交換留学プログラムと調整することがあります。)
 平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	0 名	0 名

滞在形式

集中英語研修期間中及び正規授業ともに学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考合格発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
4月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
5月上旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年5月～平成32年5月

【集中英語研修】

Summer Session: 5月中旬～8月下旬(13週間)

【正規授業】

Fall Semester: 8月下旬～12月中旬

Spring Semester: 1月下旬～5月上旬

- ◆5月上旬から始まるサスケハナ大学の集中英語研修(English Language Learners Program)を2セッション受講します。
- ◆英語研修終了後、Fall SemesterとSpring Semesterの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

留学費用(概算)

内訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
集中英語研修	\$12,638～	¥1,355,000～
滞在費・食費等	\$13,770～	¥1,475,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥3,010,000～ 奨学生:¥2,350,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆サスケハナ大学長期交換留学特別奨学生
- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。

長期交換留学プログラム(第2期)



University of Oregon (オレゴン大学)

参考URL

University of Oregon

<http://uoregon.edu/>

American English Institute

<http://aei.uoregon.edu/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
アメリカ合衆国 オレゴン州 ユージーン市	1876 年	州立大学	クォーター制 (4 学期)	約 24,000 名

大学のプロフィール

米国北西部、オレゴン州第 2 の都市ユージーン市にある州立大学である。ウィラメット渓谷の南端に位置し、大自然と温暖な気候に恵まれたキャンパスには、7 学部約 24,000 名の学生が学んでおり、学術的にも米国北西部でトップに位置している。また、オレゴン大学は全米随一のスポーツ施設を持っており、アメリカ代表選手の合宿所としても有名である。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 16～17 を参照

【学部生】TOEFL iBT®61 点 / TOEFL ITP®500 点

【大学院生】TOEFL iBT®80 点

募集人数

若干名(セメスター交換留学プログラムと調整することがあります。)
平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	6 名	5 名

滞在形式

集中英語研修期間中はホームステイ、正規授業期間中は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考合格発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
4月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
6月中旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年6月～平成32年3月

【集中英語研修】

Summer Term: 6月下旬～8月下旬(10週間)

【正規授業】

Fall Term: 9月下旬～12月上旬

Winter Term: 1月上旬～3月下旬

◆6月下旬から始まる集中英語研修(American English Institute)10週間コースを受講します。

◆英語研修終了後、Fall TermとWinter Termの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

留学費用(概算)

内訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
集中英語研修	\$7,323～	¥785,000～
滞在費・食費等	\$9,453～	¥1,015,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥140,000～
合計		¥1,965,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。



長期交換留学プログラム(第2期)



UNIVERSITY OF
CALGARY

参考URL

University of Calgary

<http://www.ucalgary.ca/>



University of Calgary (カルガリー大学)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
カナダ アルバータ州 カルガリー市	1966 年	州立大学	トリメスター制 (3 学期)	約 30,000 名

大学のプロフィール

カルガリー大学は、カナダ西部のアルバータ州にある 14 学部 60 以上の学科を有する総合大学である。北米の大学の中でも上位に入る研究レベルの高い大学で、多くの優秀な卒業生を世界に輩出している。キャンパスはカルガリー市中心部に位置し、学部、大学院を合わせて約 30,000 人余りの正規学生、1,800 人の教員を擁する。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。

※詳細は P. 16～17 を参照

【学部生】

TOEFL iBT®71 点/TOEFL ITP®530 点

ただし、正規授業の履修には TOEFL iBT® 86 点/TOEFL ITP 560 点以上の英語力が要求されている。渡航までに所定のスコアを取得できない場合、秋学期において正規授業を履修するためには、集中語学研修において所定の条件を満たす必要がある(右記参照)。

【大学院生】 TOEFL iBT® 86 点

募集人数

若干名(セメスター交換留学プログラムと調整することがあります。)

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	3 名	3 名

滞在形式

集中英語研修期間中(ESL)はホームステイ、正規授業期間中は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考可否発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
4月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
4月中旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年4月～平成32年4月

【集中英語研修(ESL)】

Spring Term: 4月下旬～7月下旬(13週間)

Intensive Summer Course: 7月下旬～8月下旬(5週間)

【正規授業】

Fall Term: 9月上旬～12月下旬

Winter Term: 1月上旬～4月下旬

◆カルガリー大学にて4月下旬から始まる集中英語研修のSpring

Term(Academic Communication Certificate)を13週間及び

Intensive Summer Course を5週間受講します。

◆英語研修終了後、Fall TermとWinter Termの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

※カルガリー大学で正規授業を履修するにはTOEFL iBT 86点またはTOEFL ITP 560点以上の英語力が要求されている。渡航までに所定のスコアを取得できない場合、正規授業を履修するためにはSpring TermのAcademic Communication Certificate において所定の成績を修める必要がある。基準を満たせなかった場合、Fall Term も引き続き英語研修となり、その費用は自己負担となる。

正規英語コース費用参考(1学期分):CA\$4,400

留学費用(概算)

内訳	カナダドル(\$)	日本円 \$1=87で計算
集中英語研修	\$11,195～	¥975,000～
滞在費・食費等	\$8,705～	¥760,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥1,915,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学交換留学奨学生

◆専修大学長期交換留学プログラム補助金

◆専修大学育友会交換留学生援助金

◆独立行政法人 日本学生支援機構

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。

長期交換留学プログラム(第2期)



参考URL

University of Bristol

<http://www.bristol.ac.uk/>

Centre for English Language and Foundation Studies

<http://www.bristol.ac.uk/english-language/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
イギリス ブリストル市	1595 年	公立大学	セメスター制 (2 学期)	約 18,000 名

大学のプロフィール

ブリストル大学は、イングランド西部の湾岸都市ブリストルに本部を置くイギリスの公立大学。今までに卒業生・在籍者・教職員から12人のノーベル賞受賞者を輩出している。創立以来、イギリスの研究型大学連合「ラッセル・グループ」の加盟校として、また、ヨーロッパ大学連盟である「コインブラ・グループ」の加盟校として発展してきた。また、ブリストル大学は英国で最初に女子に門戸を開いた大学でもある。

語学能力基準

※応募には2回分のスコアが必要です。

※詳細は P. 16～17 を参照

IELTS 5.5 (ライティング 5.5 以上) /

TOEFL iBT 72 点 (各セクション 17 点以上)

ただし、正規授業の履修には一定の英語力が要求されている(右記参照)。渡航までに所定のスコアを取得できない場合、夏学期・秋学期共に正規英語コースを受講し、それに伴う費用は自己負担となる。

募集人数

若干名

平成 30 年度より募集開始

定員	応募者数	派遣者数
若干名	—	—

滞在形式

全期間、学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考合格発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
4月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
6月上旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年6月～平成32年1月

【IELTS® 6.5 (各セクション 6.5以上) /
TOEFL iBT 92点 (各セクション23点以上)】

STABLE Summer English Programme:

6月中旬～8月下旬(10週間)

◆集中英語研修を受講します。

Teaching Block 1: 9月下旬～1月下旬

◆STABLE Summer English Programme 受講後、正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

【IELTS® 6.0 (各セクション 5.5以上) /
TOEFL iBT 80点 (各セクション18点以上)】

STABLE Summer English Programme:

6月中旬～8月下旬(10週間)

◆集中英語研修を受講します。

Study Abroad Bridge: 6月中旬～8月下旬

◆英語研修と平行して“Cultural Studies”(専門科目)を履修します。

※渡航までに上記スコアを取得できない場合、夏学期・秋学期共に正規授業ではなく集中英語研修を受講することとなり、その費用は自己負担となる。

※秋学期も集中英語研修を受講する場合、費用は自己負担となる。

留学費用(概算)

内訳	ポンド (£)	日本円 £ 1 = 149 で計算
集中英語研修	£ 6,088 ～	¥910,000 ～
滞在費・食費等	£ 3,961 ～	¥590,000 ～
事前研修費他		¥25,000 ～
海外旅行保険料		¥100,000 ～
合計		¥1,625,000 ～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンスサポート制度 (SAFS)

◆専修大学交換留学奨学生

◆専修大学長期交換留学プログラム補助金

◆専修大学育友会交換留学生援助金

◆独立行政法人 日本学生支援機構

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。

長期交換留学プログラム(第2期)



TRINITY COLLEGE DUBLIN
COLÁISTE NA TRÍONÓIDE, BAILE ÁTHA CLIATH

THE UNIVERSITY OF DUBLIN

参考URL

The University of Dublin, Trinity College

<http://www.tcd.ie/>

Dublin City University

<http://www.english.dcu.ie/>

The University of Dublin, Trinity College (ダブリン大学トリニティカレッジ)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
アイルランド ダブリン市	1592 年	国立大学	ターム制 (2 学期)	約 17,000 名

大学のプロフィール

1592年に設立され、400年以上の歴史を持つアイルランドで最古の大学。アイルランドの首都ダブリンに位置し、約17,000名の学生が学んでいる。これまでに数多くのノーベル賞受賞者を輩出し、アイルランドにとどまらず世界最高峰レベルの教育を誇っている。大学内にある図書館にはアイルランド最古の手書きの書"The Book of Kells"などの歴史的価値の高い資料が保管されており、蔵書数も現在は600万冊を越え、アイルランド一の規模を持つ。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。

※詳細は P. 16～17 を参照

【学部生】TOEFL iBT@61 点

【大学院生】TOEFL iBT@90 点(ライティング 21 点)

※留学先学部について、Business Studies 以外の学部(Medical、Engineering を除く)を希望する場合は事前に国際交流事務課に相談してください。語学能力基準が異なる場合があります。

募集人数

若干名(セメスター交換留学プログラムと調整することがあります。)

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	2 名	2 名

滞在形式

集中英語研修期間中(ダブリンシティ大学)はホームステイ、正規授業期間中(ダブリン大学トリニティカレッジ)は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考可否発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
4月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
5月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年6月～平成32年5月

【集中英語研修(ダブリンシティ大学)】

General English: 6月上旬～7月下旬 (9週間)

English for Academic Purposes: 8月中旬～8月下旬 (3週間)

【正規授業(ダブリン大学トリニティカレッジ)】

Michaelmas Term: 9月下旬～12月下旬

Hilary Term: 1月中旬～5月下旬

◆ダブリン市内にあるDublin City Universityにて6月上旬から始まる集中英語研修(General English/English for Academic Purposes)を受講します。

◆集中英語研修終了後、ダブリン大学トリニティカレッジでMichaelmas TermとHilary Termの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

留学費用(概算)

内訳	ユーロ(€)	日本円 €1=134で計算
集中英語研修	€5,580～	¥750,000～
滞在費・食費等	€9,145～	¥1,230,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥2,160,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学交換留学奨学生

◆専修大学長期交換留学プログラム補助金

◆専修大学育友会交換留学生援助金

◆独立行政法人 日本学生支援機構

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。



長期交換留学プログラム(第2期)



参考URL

Universidad Iberoamericana

http://ibero.mx/



Universidad Iberoamericana (イペロアメリカーナ大学)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
メキシコ メキシコシティ	1943 年	私立大学	セメスター制 (2 学期)	約 11,000 名

大学のプロフィール

メキシコの首都メキシコシティの郊外に、1943 年にイエズス会によって設立された私立大学。人文学部・経済学部・経営学部・理工学部などで約 11,000 名の学生が恵まれた設備のもとに学んでいる。メキシコシティは、海拔 2,200m に位置する人口 1,800 万人を数える世界有数の大都市と知られ、市内のいたるところで見うけられるアステカの遺跡やスペインの植民地時代のコロニアル建築物が当時を偲ばせる。

語学能力基準

※詳細は P. 16～17 を参照

【学部生・大学院生共通】

スペイン語検定試験 DELE B1・スペイン語技能検定 4 級あるいは一定以上のスペイン語能力を有していること。

募集人数

若干名

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	1 名	1 名

滞在形式

全期間ホームステイでメキシコの習慣や文化に触れながら生活をします。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考合格発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
4月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 就職・教務ガイダンス
5月中旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年5月～平成32年5月

【集中スペイン語研修】

Summer Session: 5月下旬～7月上旬(6週間)

※メキシコシティ市内の他大学での研修となる場合があります。

【正規授業】

Fall Semester: 8月上旬～12月上旬(18週間)

Spring Semester: 1月上旬～5月中旬(18週間)

- ◆5月下旬～7月上旬までは集中スペイン語研修を受講し、より高いスペイン語力の養成を図ります。
- ◆集中スペイン語研修終了後、Fall SemesterとSpring Semesterの正規授業を履修し、単位を修得します。

留学費用(概算)

内訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
集中スペイン語研修	\$3,263	¥350,000～
滞在費・食費等	\$5,100～	¥550,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥155,000～
合計		¥1,080,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学長期交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。

V. セメスター交換留学プログラム

セメスター交換留学プログラムとは

本学在学中に1学期相当期間、国際交流協定校に留学し、協定校で開講されている正規授業科目を履修し、留学先大学にて単位を修得してくるプログラムです。留学先にて修得した単位は審査の上、本学開講科目の単位に振り替えることができます。就職活動の時期にも対応し、留学する学生の経済的負担を軽減しつつ、より高いレベルの専門科目を学ぶプログラムです。現在は、下記のとおり、英語圏3か国5大学でプログラムを実施しています。各留学先大学の詳細については、後述の大学別ページを参照してください。



応募条件

留学目的を含めた十分な留学計画を立てた上で、協定校への留学を目指してください。ここでは、セメスター交換留学プログラムの募集概要について詳しく説明をします。質問や不明な点、または留学に関する相談等があればガイドブックを一読後、国際交流事務課まで問い合わせてください。

- ① 語学能力が留学先大学の要求している基準を満たしている者。(TOEFLを2回以上受験し、上位スコア2回分の平均点がTOEFL iBT 61点以上またはTOEFL ITPテスト500点以上でなければならない。また、うち1回は留学先大学が要求する基準以上のスコアを指定されたTOEFL形式(iBT/ITP)で取得していなければならない。なお、TOEFL iBT及びTOEFL ITPテストを各1回受験した場合の平均点は、換算表に従ってどちらか一方の形式によるスコアに合わせることにする。)
- ※なお、TOEFLのスコアについては願書提出締切日より1年以内に受験したスコアを有効とする。
- ※応募の際に第二・第三希望校を選択する場合は、第二希望校及び第三希望校の語学能力基準も満たしていなければならない。

留学先大学	語学能力基準
ネブラスカ大学リンカーン校	TOEFL iBT 71点 (ライティング 20点)
サスケハナ大学	TOEFL ITP 550点 / TOEFL iBT 80点
オレゴン大学	TOEFL ITP 530点 / TOEFL iBT 71点
カルガリー大学	TOEFL ITP 560点 / TOEFL iBT 86点
ダブリン大学トリニティカレッジ	TOEFL iBT 90点 (ライティング 21点)

【注意】語学能力基準は、留学先大学の事情によって変更になることがあります。

- ② 留学目的が明確である者。
- ③ 学業成績の平均点が70.0点以上の者。
- なお、学業成績の平均点は、選考までに確定している学業成績を基に算出します。
- ④ 心身ともに健康で、異文化に柔軟に適應できる者。
- ⑤ 経済的な裏付けがあり、保証人の承諾が得られる者。
- ⑥ 事前研修(有料)を受講可能な者。
- ※応募時において4年次以上の学生及び大学院生は申込みできません。

応募手続

応募を希望する者は、応募書類を提出する前に、どこの大学へ行きたいか、どのような目的で留学を希望しているのか、希望する留学先大学で自分の所属する学部・学科に則した科目を履修することができるのかどうか等、国際交流事務課にて適切なアドバイスを受けた上で、応募書類を提出してください。

● 応募書類について

応募書類は、留学プログラム説明会または国際交流事務課にて配付します。留学希望者は受け取りに来てください。

① 交換留学プログラム許可願（様式 1-1）

② 交換留学プログラム応募理由と留学・学習計画（様式 1-2）

応募理由、留学・学習計画、履修希望科目、留学に向けて進めている準備、帰国後の成果の活かし方及び卒業後の進路計画を記述します。単に語学学習や異文化理解といったことにならず、所属学部・学科に関わる専門分野の知識を修得し、理解を深めることに重点を置いて書く必要があります。

③ 交換留学奨学生願書（様式 2）

④ 誓約書（様式 3）

⑤ 承諾書（様式 4）

⑥ 学業成績証明書（日本語 1 通・英語 2 通）

⑦ 語学能力試験スコア（本書 2 回分）

TOEFL スコアの提出（本書 2 回分）が必要です。

※詳細は p. 38「応募条件①」参照

⑧ 応募理由（別紙）

留学先国の言語を用いて応募理由を書いてください。A4 サイズの用紙を使用し、1～2 枚（シングルスペース 400 語以上・フォント及び文字サイズ：Century/10.5）でタイプアウトしてください。

⑨ 保健調査票

⑩ 健康診断書（願書提出締切日より 3 か月以内に受検したものを有効とする）

協定校に留学する学生が留学先国・大学における学業・生活に支障がないかどうかを確認します。

【受検項目：身長・体重・血圧・検尿・聴打診・胸部 X 線】

上記以外の項目については、各自で判断をしてください。また、長期間海外に滞在するにあたり、本学と留学先大学が特に知っておくべき「既往症」または「原病歴」のある場合にはかかりつけの医療機関において別途受診し、その診断書も併せて提出してください。

⑪ 学業成績通知表（学生返却用）

応募条件として、学業成績の 平均点が 70.0 以上 が必要です。選考までに確定している学業成績の平均点は、事前に所定の用紙を持って所属学部教務課窓口にて確認することができます（所定の用紙は国際交流事務課にあります）。

⑫ 確認書（日本国籍以外の学生のみ）

● 選考から出発までのスケジュールについて

各留学先大学の詳細については、後述の大学別ページを参照してください。

● 留学許可について

留学の許可にあたっては、国際交流センター委員会で審査し、教授会の議を経て学長が決定し許可しますが、留学先大学へ候補者として推薦されることであり留学先大学での受入れを保証するものではありません。受入可否の最終判断は留学先大学によって行われます。このため、留学の最終決定までは候補者として位置づけられ、受入れ基準の変更等留学先大学の事情によっては、本学の選考後であっても受入れが許可されない場合もあります。また、留学先国の査証（ビザ）を取得できない場合（留学先大学から入学が許可されない場合も含む）や候補者としての義務が果たされていないと国際交流センターが判断した場合は留学を取消します。なお、候補者は各種オリエンテーション及び事前研修等に必ず出席しなければなりません。最終的に留学許可書が交付された時点でセメスター交換留学生となり、留学が許可されます。なお、候補者決定後の取消しやキャンセルで発生する諸費用については、自己負担となります。

履修登録と単位認定

● 留学前の本学における履修登録

留学中も本学に在籍しているため、留学年度においても4月の所定の期日までに履修登録を完了しなければなりません。また、前期期間は、履修登録に従って本学の授業に出席しなければなりません。その他の詳細については、所属学部の教務課窓口にて確認してください。

● 留学先大学における履修登録

セメスター交換留学生は、応募時に提出する学習計画に沿って本学の在籍学部・学科で開講されている科目に読み替えが可能な科目を留学先大学で履修することを基本原則とします。

しかし、語学能力不足等の事由のため授業についていくことが困難で、留学先大学のアカデミックアドバイザーの指示により履修計画を修正せざるを得ない状況が生じるかもしれません。このような場合、本学のアカデミック・アドバイザー（出発前に指定）とも相談の上、事前の計画から変更が生じてもやむを得ないものとしますが、可能な範囲で当初の目的に即したものであることを基本とし、本学在籍学部・学科で開講されている授業科目に相応した専門科目を履修することが望まれます。

● 帰国後の単位の認定

留学先大学で修得した科目は、学部学生においては60単位（日本語学科及び日本文学文化学科は30単位）を上限として、認定が可能となります。認定される科目や単位数については、留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき審査されますので、留学先で修得した科目が全て認定されるわけではありません。帰国後の単位認定の状況によっては、4年間で卒業できない場合もありますので、留学前には本学での学業に励むと共に、留学先大学での科目の履修について入念に履修計画を立てることが大切です。ただし、教職・司書・司書教諭・学芸員課程の科目および単位数への振替は行いません。

セメスター交換留学生は、単位認定に関わる必要な書類を所定の期日までに国際交流事務課へ提出しなければなりません。本学がやむを得ないと判断した場合を除き、所定の期日までに書類を提出できなかった学生の単位認定は原則として行われません。この場合、進級や卒業に支障をきたしますので十分注意してください。なお、進級条件や卒業に必要な単位に関しては、出発前に所属学部の教務課窓口で各自が十分相談しておいてください。

※単位認定の状況は学部・学科によって異なります。

セメスター交換留学プログラム



University of Nebraska-Lincoln (ネブラスカ大学リンカーン校)

参考URL

University of Nebraska-Lincoln

<http://www.unl.edu/>

所在国・地域	創設年	設置形態	学期制	学生数
アメリカ合衆国 ネブラスカ州 リンカーン市	1869 年	州立大学	セメスター制 (2学期)	約 25,000 名

大学のプロフィール

米国の中西部の大平原にあるネブラスカ州の州立大学で、リンカーン校 (UNL)、オマハ校 (UNO)、カーニー校 (UNK) 及び医学センター (UNMC) の4校から構成されている。その教育水準は、州内トップを誇り、多数の学部が全米でも上位にランクされている。広大なリンカーン・キャンパスにはアメリカンフットボール専用の85,000名を収容するメモリアルスタジアムをはじめ、スポーツセンター、劇場、歴史民族博物館などがあり、約25,000名の学生を有する。

語学能力基準

※応募には2回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 38 を参照

TOEFL iBT® 71 点 (ライティング 20 点以上)

募集人数

若干名 (長期交換留学プログラムと調整することがあります。)
平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数 (予定)
若干名	0 名	0 名

滞在形式

留学期間中は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日 (土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日 (金)	願書提出期限
11月10日 (土)	第1次選考 (小テスト)
～11月20日 (火)	第1次選考 (外国語面接)
11月21日 (水)	第1次選考合格発表
11月24日 (土)	第2次選考 (面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日 (月)	候補者発表
12月1日 (土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日 (土)	留学 OB/OG による講演会
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
7月中旬	海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
8月中旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間: 平成31年8月～平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

Fall Semester: 8月下旬～12月上旬

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、ネブラスカ大学リンカーン校にてFall Semesterの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

留学費用 (概算)

内 訳	米ドル (\$)	日本円 \$1=107で計算
滞在費・食費等	\$6,711～	¥720,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥65,000～
合 計		¥810,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。
※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用 (被服費・交際費等) がかかります。
※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。
※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センター「スタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度 (SAFS)」

- ◆専修大学交換留学奨学生
 - ◆専修大学セメスター交換留学プログラム補助金
 - ◆専修大学育友会交換留学生援助金
 - ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度 (協定派遣) 奨学金
- ※詳細は、P. 7を参照。



セメスター交換留学プログラム



Susquehanna University (サスケハナ大学)

参考URL
Susquehanna University
<http://www.susqu.edu/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
アメリカ合衆国 ペンシルバニア州 セリンズグローブ市	1895 年	私立大学	セメスター制 (2 学期)	約 2,300 名

大学のプロフィール

米国ペンシルバニア州・セリンズグローブ市に位置し、教養学部、経営学部の2学部を持つ。学生は約2,300名。教養学部の教育水準は全米私立大学の中でトップレベルにランクされている。セリンズグローブは米国内で最も美しい渓谷の一つであり、自然環境に恵まれた豊かな街である。

語学能力基準

※応募には2回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 38 を参照

TOEFL iBT® 80 点 / TOEFL ITP® 550 点

募集人数

若干名(長期交換留学プログラムと調整することがあります。)

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	0 名	0 名

滞在形式

留学期間中は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
~11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考合格発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月~3月	事前研修
7月中旬	海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
8月中旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年8月~平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月~8月

【後期】

Fall Semester: 8月下旬~12月中旬

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、サスケハナ大学にてFall Semesterの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

留学費用(概算)

内 訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
滞在費・食費等	\$7,725~	¥830,000~
事前研修費他		¥25,000~
海外旅行保険料		¥65,000~
合計		¥920,000~

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000~¥300,000です。

※留学期間においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
- ◆専修大学セメスター交換留学プログラム補助金
- ◆専修大学育友会交換留学生援助金
- ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

※詳細は、P. 7を参照。



セメスター交換留学プログラム



UNIVERSITY OF OREGON

参考URL
University of Oregon
http://uoregon.edu/



University of Oregon (オレゴン大学)

所在国・地域	創立案	設置形態	学期制	学生数
アメリカ合衆国 オレゴン州 ユージーン市	1876 年	州立大学	クォーター制 (4 学期)	約 24,000 名

大学のプロフィール

米国北西部、オレゴン州第 2 の都市ユージーン市にある州立大学である。ウィラメット渓谷の南端に位置し、大自然と温暖な気候に恵まれたキャンパスには、7 学部約 24,000 名の学生が学んでいる。学術的にも米国北西部でトップに位置している。また、オレゴン大学は全米随一のスポーツ施設を持っており、アメリカ代表選手の合宿所としても有名な大学である。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 38 を参照

TOEFL iBT® 71 点 / TOEFL ITP® 530 点

募集人数

若干名(長期交換留学プログラムと調整することがあります。)

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	0 名	0 名

滞在形式

留学期間中は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考合格発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
7月中旬	海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
9月上旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間: 平成31年9月～平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

Fall Term: 9月中旬～12月上旬

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、オレゴン大学にてFall Termの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

留学費用(概算)

内訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
滞在費・食費等	\$6,182～	¥665,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥50,000～
合計		¥740,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
 - ◆専修大学セメスター交換留学プログラム補助金
 - ◆専修大学育友会交換留学生援助金
 - ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金
- ※詳細は、P. 7を参照。



セメスター交換留学プログラム



UNIVERSITY OF
CALGARY

参考URL
University of Calgary
<http://www.ucalgary.ca/>



University of Calgary (カルガリー大学)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
カナダ アルバータ州 カルガリー市	1966 年	州立大学	トリメスター制 (3 学期)	約 30,000 名

大学のプロフィール

カルガリー大学は、カナダ西部のアルバータ州にあり、1966 年に創立され、14 学部 60 以上の学科を有する総合大学である。北米の大学の中でも上位に入る研究レベルの高い大学で、多くの優秀な卒業生を世界に輩出している。キャンパスはカルガリー市中心部に位置し、学部、大学院を合わせて約 30,000 名余りの正規学生、1,800 名の教員を擁する。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 38 を参照

TOEFL iBT® 86 点 / TOEFL ITP® 560 点

募集人数

若干名 (長期交換留学プログラムと調整することがあります)。
平成 30 年度派遣実績

定員	応募者数	派遣者数 (予定)
若干名	0 名	0 名

滞在形式

留学期間中は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考可否発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
7月中旬	海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
8月下旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間: 平成31年9月～平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

Fall Term: 9月上旬～12月下旬

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、カルガリー大学にてFall Term の正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

留学費用(概算)

内訳	カナダドル(\$)	日本円 \$1=87で計算
滞在費・食費	\$4,353～	¥380,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥50,000～
合計		¥455,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度 (SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
 - ◆専修大学セメスター交換留学プログラム補助金
 - ◆専修大学育友会交換留学生援助金
 - ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金
- ※詳細は、P. 7を参照。



セメスター交換留学プログラム



参考URL

The University of Dublin, Trinity College
http://www.tcd.ie/

The University of Dublin, Trinity College (ダブリン大学トリニティカレッジ)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
アイルランド ダブリン市	1592 年	国立大学	ターム制 (2 学期)	約 17,000 名

大学のプロフィール

1592年に設立され、400年以上の歴史を持つアイルランドで最古の大学。アイルランドの首都ダブリンに位置し、約17,000名の学生が学んでいる。これまでに数多くのノーベル賞受賞者を輩出し、アイルランドにとどまらず世界最高峰レベルの教育を誇っている。大学内にある図書館にはアイルランド最古の手書きの書"The Book of Kells"などの歴史的価値の高い資料が保管されており、蔵書数も現在は600万冊を越え、アイルランド一の規模を持つ。

語学能力基準

※応募には2回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 38 を参照

TOEFL iBT® 90 点(ライティング 21 点)

※留学先学部について、Business Studies 以外の学部 (Medical, Engineering を除く) を希望する場合は事前に国際交流事務課に相談してください。語学能力基準が異なる場合があります。

募集人数

若干名(長期交換留学プログラムと調整することがあります。)

平成 30 年度実績

定員	応募者数	派遣者数(予定)
若干名	0 名	0 名

滞在形式

留学期間中は学生寮に滞在します。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(小テスト)
～11月20日(火)	第1次選考(外国語面接)
11月21日(水)	第1次選考合格発表
11月24日(土)	第2次選考(面接・書類審査) ※1次選考合格者のみ
11月26日(月)	候補者発表
12月1日(土)	第1回候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
2月中旬	第2回候補者オリエンテーション
1月～3月	事前研修
7月中旬	海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
9月中旬	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年9月～平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

Michaelmas Term: 9月下旬～12月下旬

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、ダブリン大学トリニティカレッジにてMichaelmas Termの正規授業で専門科目を履修し、単位を修得します。

留学費用(概算)

内訳	ユーロ(€)	日本円 €1=134で計算
滞在費・食費	€3,976～	¥535,000～
事前研修費他		¥25,000～
海外旅行保険料		¥50,000～
合計		¥610,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の納入が必要です。

専修大学国際交流センタースタディアフロード・ファイナンスサポート制度(SAFS)

- ◆専修大学交換留学奨学生
 - ◆専修大学セメスター交換留学プログラム補助金
 - ◆専修大学育友会交換留学生援助金
 - ◆独立行政法人 日本学生支援機構
海外留学支援制度(協定派遣)奨学金
- ※詳細は、P. 7を参照。



VI. 中期留学プログラム

中期留学プログラムとは

本学国際交流協定校・研修校に4か月～5か月間留学し、国際交流協定校・研修校で外国人留学生を対象に開講されている集中語学コースに参加するプログラムです。英語圏のみならず、中国語、ロシア語、ドイツ語、フランス語、スペイン語の英語以外の外国語コースも充実しています。また、社会知性開発コースでは、集中語学研修の後に約1か月間のインターンシップを実施します。

参加者は、留学先国の言語による実践的なコミュニケーション能力の習得に加え、プレゼンテーションやライティング等のアカデミック・スキルや、異文化理解について学ぶことができます。

また、当プログラムは在学期間に算入されます。事前・事後研修の受講に加え、現地において所定のコースを修了し、一定以上の成績を修得すると、本学開講科目に成績評価され、単位が授与されます。

応募条件

1. 【英語圏】

研修校毎に定められた TOEFL 基準を満たしている者。

(TOEFL を2回以上受験し、上位スコア2回分の平均点が TOEFL iBT42 点以上または TOEFL ITP テスト 440 点以上でなければならない。また、うち1回は研修校毎に定められた基準以上のスコアを取得していなければならない。なお、TOEFL iBT 及び TOEFL ITP テストを各1回受験した場合の平均点は、換算表に従ってどちらか一方の形式によるスコアに合わせることをとする。)

※TOEFL セミナー（夏期特訓コース）の受講後に行う試験の受験結果も有効とする。

※TOEFL スコアについては、願書提出締切日より1年以内に受験したスコアを有効とする。

留学先大学	語学能力基準
オレゴン大学	TOEFL ITP 450 点／TOEFL iBT 45 点
カルガリー大学	TOEFL ITP 450 点／TOEFL iBT 45 点
ウーロンゴン大学	TOEFL ITP 450 点／TOEFL iBT 45 点
ワイカト大学（前期）	TOEFL ITP 440 点／TOEFL iBT 42 点
ネブラスカ大学リンカーン校	TOEFL ITP 450 点／TOEFL iBT 45 点
ワイカト大学+インターンシップ（後期）	TOEFL ITP 450 点／TOEFL iBT 45 点

【英語以外の外国語圏】

語学能力基準を満たしている者。なお、検定試験については、願書提出締切日より2年以内に受験したものを有効とする。

※ただし、語学能力基準を満たしていない場合は、同等以上の語学能力を有すると認められる者とし、筆記試験により語学能力を判断する。また、本学で開講している留学先言語の外国語科目（初級 101・102、選択 101、中級 201・202、中級プラス 201・202、上級 301、初級基礎・構造・会話、中級総合・演習・会話、上級演習、のいずれか2単位）を履修することとする。なお、履修していない者については、留学前または留学後に当該科目を履修することとする。

留学先大学	語学能力基準
ライプツィヒ大学	ドイツ語技能検定試験 4 級
上海大学	HSK 3 級・中国語検定試験 4 級
檀国大学	ハングル能力検定 5 級・韓国語能力試験 TOPIK I (2 級以上)
リュミエール・リヨン第2大学 CIEF	実用フランス語技能検定試験 4 級・DELTA/DALF-A2
イベロアメリカーナ大学	スペイン語検定試験 DELE A2・スペイン語技能検定 5 級

2. 本学における授業履修計画に支障がないと認められる者（p. 49『履修登録と単位認定』の項目を参照）。
3. 参加目的が明確な者。
4. 学業成績平均点が 70.0 点以上の者。
なお、学業成績の平均点は、選考までに確定している学業成績を基に算出する。
5. 心身ともに健康で、異文化に柔軟に適応できる者。
6. 経済的な裏付けがあり、保証人の承諾が得られる者。
7. 出発前の事前研修（有料）を受講可能な者。
8. 帰国後の事後研修（有料）を受講可能な者。
9. 同一言語コース 2 度目の参加者は優先順位が下がる。

※応募時において 4 年次以上の学生は申込みできない。ただし、卒業延期制度を利用する場合に限り、申込みを受付ける。なお、卒業延期制度の要件を満たさなくなった場合は、留学の許可を取り消すこととする。また、大学院生は応募できない。

プログラム内容

1. 事前研修

現地での勉学や生活がより安全で、充実したものにするため、コミュニケーション能力向上のための語学研修に加え、留学目的を明確にするための留学 OB/OG による講演会、留学生活での危機管理意識を高める海外安全セミナーを実施します。この事前研修は、中期留学プログラムの一部として位置づけており、単位認定の条件となっていますので、全日程に出席しなければなりません。

事前研修（語学）： 1 コマ 90 分×2 回×3 日間（計 9 時間）

留学 OB/OG による講演会： 1 コマ 90 分×1 回（予定）

海外安全セミナー： 1 コマ 90 分×1 回（予定）

2. 留学先での授業

各大学付属の語学研修機関または研修校で、留学先国の言語を母国語としない学生を対象に開講されている集中語学コースを受講します。集中語学コースにおいては、大学の正規授業を受けるために必要なアカデミック・スキル（プレゼンテーション、ノート・テイキング、リサーチ、論文の書き方等）を学ぶ目的でデザインされており、聞く・話す・読む・書く・文法等、各言語の基本スキルをレベル別に分けられたインターナショナルクラスで集中的に学びます。また、専門的な分野を学ぶクラスやフィールドワークも用意されています。

※協定校・研修校によりプログラム内容は異なります。各校のホームページを参照してください。

3. インターンシップについて（社会知性開発コース）

ハミルトン市にあるワイカト大学での英語研修の後、オークランドへ移動してインターンシップを約 1 か月間に渡り行います。現地では、参加学生の英語能力に合わせて一般企業、観光関連企業、福祉施設、環境保護団体、語学学校、旅行代理店、ホテル、免税店、広告代理店等の業種でインターンシップを実施します。インターンシップ期間中の滞在はオークランドでのホームステイとなります。ワイカト大学で学んだ英語力を実社会で試す良い機会になるだけでなく、就職活動を含めた将来の進路選択に役立つでしょう。



なお、ニュージーランドでインターンシップを行うにあたっては、ワーキングホリデービザを取得します。ニュージーランドのワーキングホリデービザは1年間有効で、同一申請者に対して1回しか発給されないため、一度取得すると再度取得できなくなります。また、本学で定めた留学期間で帰国しなければなりません。

「社会知性」とは・・・

21世紀の今日、グローバル化の拡大と異文化交流の進展、情報化の加速、少子高齢化の進行など、我々が取り組まなければならない課題が山積しています。これらの社会的課題を解決するためには、地球的視野から諸問題を捉える力、創造的発想力、さらには深い人間理解や倫理観が求められます。こうした新時代の社会で求められる知性こそ、「社会知性」と専修大学は考えます。

参考：インターンシップ派遣先一覧（一部）

派遣先	主な業務内容	適正など
一般企業	現地の企業にて一般事務、総務、経理などのアシスト業務	常に前向きな気持ちで挑める方、一般事務でのアルバイト経験、PC操作
日本語教師アシスタント	現地の小中高校において日本語教師のアシスタントとして授業補助など	教育への強い関心、日本文化の知識、塾講師等のアルバイト経験
旅行代理店	旅行会社での手配サポート、ツアー同行、電話対応などの現場アシスタント業務	日本人観光客が多いので綺麗な日本語を話せること、接客のアルバイト経験
保育・幼児施設	保育園や幼稚園で子供の体調記録などの管理や保育・幼児教育のアシスタント業務	幼児教育への興味・関心、幼児教育実習、幼稚園・保育園のボランティア経験
社会福祉活動	現地老人ホームなどでの介護補助、施設管理業務アシストなど	福祉への強い関心、介護ボランティア経験

※社会知性開発コースは、専修大学の21世紀ビジョンである「社会知性の開発」における地球的視野で問題を捉える力を涵養することを目的に開設されたコースです。

4. 事後研修

帰国後に外国人講師及び国際交流センター英語インストラクターの指導の下、留学先言語を用いたプレゼンテーションを実施します。ここでは、留学の成果（学業や生活面等）について留学先の言語で発表します。単位認定に関わりますので必ず出席しなければなりません。

＜実施時期（予定）＞

【前期】9月中旬：ワイカト大学、オレゴン大学、ウーロンゴン大学、カルガリー大学、ライブツィヒ大学

【後期】1月中旬：ネブラスカ大学リンカーン校、ワイカト大学、上海大学、檀国大学、

リュミエール・リヨン第2大学 CIEF、イペロアメリカーナ大学

5. TOEFL ITP®テストの受験【英語・社会知性開発コース】

留学先での英語学習の成果を測るために、帰国後に実施される TOEFL ITP®テストの受験（前期コースは9月、後期コースは12月）を義務付けています。

6. 留学経費

本学の制度で中期留学に参加する学生は、本学に在学したまま留学するので、当該留学年度の本学学費は全額納付しなければなりません。

また、留学に係る費用【集中語学研修授業料・渡航旅費・滞在費・食費・書籍代・医療費・海外旅行保険料・現地大学の学生保険料・お小遣い等】については自己負担になります。本学では、留学期間中における現地でのアルバイトを固く禁じていますので、留学にかかる費用については事前に十分検討し、準備する必要があります。

留学費用の支払い方法については留学先大学により異なりますが、候補者として決定後すぐに、学生ビザ取得のため、留学に必要な経費（例：オレゴン大学 180 万円※平成 30 年 3 月現在）を保持し

ている証明（金融機関発行の英文残高証明書）を提出しなければならない大学が多くあります。
そのため、実際の支払いは留学開始後であっても、留学経費は早い段階で必要になりますので計
画的に準備をしてください。

7. 留学日程・航空券

中期留学生は、予め大学が決定した留学スケジュールに従いプログラムに参加します。同一コース参加者は全員が同じスケジュールにて出国・帰国します。留学先大学での学業が修了した後、速やかに帰国準備をし、定められた帰国日に帰国しなければなりません。自己都合による留学期間の延長は認められません。

また、渡航にあたり航空券の手配については、危機管理上、大学が指定する旅行取扱会社にて指定の航空券を購入しなければなりません。

応募書類

1. 中期留学プログラム許可願（様式1-1）
2. 中期留学プログラム応募理由と留学・学習計画（様式1-2）
3. 誓約書（様式2）
4. 承諾書（様式3）
5. 語学能力試験スコア（本書）

英語圏の応募者は、TOEFL スコアの提出（本書2回分）が必要です。

英語以外の外国語圏の語学能力試験については、スコアまたは合格通知書（本書）を持っている場合のみ提出してください。

※詳細は p. 46 「応募条件1」 参照

6. 学業成績証明書（和文1通）
7. 保健調査票
8. 健康診断書（願書提出締切日より3か月以内に受検したものを有効とする）

協定校に留学する学生が留学先国・大学における学業・生活に支障がないかどうかを確認します。

【受検項目：身長・体重・血圧・検尿・聴打診・胸部X線】

上記以外の項目については、各自で判断をしてください。また、長期間海外に滞在するにあたり、本学と留学先大学が特に知っておくべき「既往症」または「現病歴」のある場合にはかかりつけの医療機関において別途受診し、その診断書も併せて提出してください。

9. 学業成績通知表（学生返却用）

応募条件として、学業成績の 平均点が 70.0 以上 が必要です。選考までに確定している学業成績の平均点は、事前に所定の用紙を持って所属学部教務課窓口にて確認することができます（所定の用紙は国際交流事務課にあります）。

10. 確認書（日本国籍以外の学生のみ）

履修登録と単位認定

1. 履修登録

- ①中期留学プログラム参加による単位認定については、留学プログラム参加決定後、別途所属学部で行われる教務ガイダンスに出席し、事前に申請及び手続きをしなければなりません。
- ②留学年度は、通年科目を履修することができません。
- ③中期留学を希望する学生は、応募前に、履修登録や単位認定に関する詳細を教務課（所属学部）で確認し、十分な履修計画を立てる必要があります。

2. 単位認定

留学前に行う申請及び手続きに基づき、事前・事後研修を受講し、現地において所定のコースを修了すると、本学開講科目に成績評価され、単位が認定されます。しかし、現地において単位未修得科目があった場合には、単位が認定されない場合があります。

中期留学プログラム(前期)



UNIVERSITY OF OREGON



University of Oregon (オレゴン大学)

参考URL

American English Institute

<http://aei.uoregon.edu/>

University of Oregon

<http://uoregon.edu/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
アメリカ合衆国 オレゴン州 ユージーン市	1876 年	州立大学	クォーター制 (4 学期)	約 24,000 名

大学のプロフィール

米国北西部、オレゴン州第 2 の都市ユージーン市にある州立大学である。ウィラメット渓谷の南端に位置し、大自然と温暖な気候に恵まれたキャンパスには、7 学部約 24,000 名の学生が学んでおり、学術的にも米国北西部でトップに位置している。また、オレゴン大学は全米随一のスポーツ施設を持っており、アメリカ代表選手の合宿所としても有名である。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 46 参照

- ① TOEFL iBT®45 点以上
- ② TOEFL ITP®450 点以上
- ③ TOEFL®セミナー(夏期特訓コース)受講後試験の結果が 450 点以上

募集人数

10 名

平成 30 年度実績

英語圏(前期)応募者総数	派遣者数(予定)
25 名	9 名

滞在形式

ホームステイ

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月24日(土)	選考試験(面接・書類審査)
11月26日(月)	候補者発表・候補者説明会
12月1日(土)	候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月～3月	事前研修
3月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
3月下旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年3月～平成31年9月

【前期】

Spring Term: 3 月下旬～6 月上旬 (9 週間)

Summer Term: 6 月下旬～8 月下旬 (9 週間)

【後期】

専修大学: 9 月～1 月

- ◆前期は、オレゴン大学にて3月下旬から始まる集中英語研修(American English Institute)のSpring TermとSummer Termを各9週間受講します。アカデミック・スキルズ(ディスカッション、ノートテイキング、エッセイライティング、プレゼンテーション等)を学びます。
- ◆後期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。

留学費用(概算)

内訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
集中英語研修	\$7,950～	¥855,000～
滞在費・食費等	\$5,865～	¥630,000～
事前事後研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥90,000～
合計		¥1,598,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



中期留学プログラム(前期)



参考URL
University of Calgary
<http://www.ucalgary.ca/>



University of Calgary (カルガリー大学)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
カナダ アルバータ州 カルガリー市	1966 年	州立大学	トリメスター制 (3 学期)	約 30,000 名

大学のプロフィール

カルガリー大学は、カナダ西部のアルバータ州にあり、1966 年に創立され、14 学部 60 以上の学科を有する総合大学である。北米の大学の中でも上位に入る研究レベルの高い大学で、多くの優秀な卒業生を世界に輩出している。キャンパスはカルガリー市中心部に位置し、学部、大学院を合わせて約 30,000 名余りの正規学生、1,800 名の教員を擁する。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
 ※詳細は P. 46 参照

- ① TOEFL iBT®45 点以上
- ② TOEFL ITP®450 点以上
- ③ TOEFL®セミナー(夏期特訓コース)受講後試験の結果が 450 点以上

募集人数

10 名

平成 30 年度実績

英語圏(前期)応募者総数	派遣者数(予定)
25 名	10 名

滞在形式

ホームステイ

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月24日(土)	選考試験(面接・書類審査)
11月26日(月)	候補者発表・候補者説明会
12月1日(土)	候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月～3月	事前研修
3月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
4月中旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年4月～平成31年7月

【前期】

Spring Term: 4月下旬～7月下旬(13週間)

【後期】

専修大学: 9月～1月

- ◆前期は、カルガリー大学にて4月下旬から始まる集中英語研修(English Language Program)のSpring Termを13週間受講します。アカデミック・スキルズ(ディスカッション、ノートテイキング、エッセイライティング、プレゼンテーション等)を学びます。
- ◆後期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。

留学費用(概算)

内 訳	カナダドル (\$)	日本円 \$1=87で計算
集中英語研修	\$3,950	¥345,000～
滞在費・食費等	\$2,955	¥260,000～
事前事後研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥55,000～
合計		¥683,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



中期留学プログラム(前期)



参考URL

UOW College

<http://www.uowcollege.edu.au/>

University of Wollongong

<http://www.uow.edu.au/>



University of Wollongong (ウーロンゴン大学)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
オーストラリア ニューサウスウェールズ州 ウーロンゴン市	1951 年	国立大学	セメスター制 (2 学期)	約 33,000 名

大学のプロフィール

ウーロンゴン大学は、1951 年に創立された国立大学である。人文学部、ビジネス学部、情報理論学部、法学部、教育学部等の 9 学部約 33,000 名の学生が学んでいる。うち留学生は約 40%。大学のあるウーロンゴン市は、オーストラリアで第 9 番目の都市に数えられ、シドニーから約 80 キロ南方に位置する美しいビーチなど豊かな自然に恵まれた海岸沿いの町である。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 46 参照

- ① TOEFL iBT®45 点以上
- ② TOEFL ITP®450 点以上
- ③ TOEFL®セミナー(夏期特訓コース)受講後試験の結果が 450 点以上

募集人数

10 名

平成 30 年度実績

英語圏(前期)応募者総数	派遣者数(予定)
25 名	2 名

滞在形式

ホームステイ

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月24日(土)	選考試験(面接・書類審査)
11月26日(月)	候補者発表・候補者説明会
12月1日(土)	候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月～3月	事前研修
3月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
3月下旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年4月～平成31年8月

【前期】

Intake 3: 4 月上旬～5 月中旬 (6 週間)

Intake 4: 5 月下旬～6 月下旬 (6 週間)

Intake 5: 7 月上旬～8 月中旬 (6 週間)

【後期】

専修大学: 9 月～1 月

◆前期は、ウーロンゴン大学にて4月上旬から始まる

General EnglishまたはEnglish for Academic Purposes を6週間×3 Session受講し、アカデミック・スキルズ(ディスカッション、ノートテイキング、エッセイライティング、プレゼンテーション等)を学びます。

◆後期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。

留学費用(概算)

内 訳	豪ドル(\$)	日本円 \$1=87で計算
集中英語研修	\$9,180～	¥800,000～
滞在費・食費等	\$5,592～	¥490,000～
事前事後研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥75,000～
合計		¥1,388,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

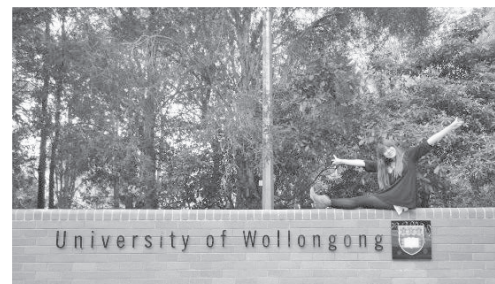
※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



中期留学プログラム(前期)



The University of Waikato (ワイカト大学)

参考URL

Waikato Pathways College

<http://education.waikato.ac.nz/pathways/>

The University of Waikato

<http://www.waikato.ac.nz/>

所在国・地域	創立案	設置形態	学期制	学生数
ニュージーランド ハミルトン市	1964 年	国立大学	セメスター制 (2 学期)	約 13,000 名

大学のプロフィール

1964年に政府の基金により設立された国立大学である。公園のような美しいキャンパスには7学部49学科、約13,000名の学生が学んでいる。マオリ族の学生が多いのも特徴で、マオリの研究はニュージーランドで最も進んでいると言われている。また約2,800名の留学生在が学んでいる。大学のあるハミルトン市は人口14万人を越え、ニュージーランドで4番目に大きな都市である。市内を流れるワイカト川沿いには公園が多数あり、市民の憩いの場となっている。

語学能力基

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 46 参照

- ① TOEFL iBT®42 点以上
- ② TOEFL ITP®440 点以上
- ③ TOEFL®セミナー(夏期特訓コース)受講後試験の結果が 440 点以上

募集人数

5 名

平成 30 年度実績

英語圏(前期)応募者総数	派遣者数(予定)
25 名	3 名

滞在形式

ホームステイ

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月24日(土)	選考試験(面接・書類審査)
11月26日(月)	候補者発表・候補者説明会
12月1日(土)	候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月～3月	事前研修
3月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
3月下旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年4月～平成31年7月

【前期】

General English: 4月下旬～5月上旬(2週間)

Block 2 CAEL: 5月中旬～7月下旬(10週間)

【後期】

専修大学: 9月～1月

- ◆前期は、ワイカト大学にてGeneral Englishを2週間受講し、その後CAEL(Certificate of Attainment in English Language)またはCAAE(Certificate of Attainment in Academic English)のBlock 2を10週間受講します。アカデミック・スキルズ(ディスカッション、ノートテイキング、エッセイライティング、プレゼンテーション等)を学びます。
- ◆後期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。

留学費用(概算)

内訳	ニュージーランド ドル(\$)	日本円 \$1=81で計算
集中英語研修	\$6,450～	¥525,000～
滞在費・食費等	\$5,036～	¥410,000～
事前事後研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥60,000～
合計		¥1,020,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の金額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センター・スタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



中期留学プログラム(前期)



UNIVERSITÄT
LEIPZIG



interDaF
interDaF e.V. am Herder-Institut
der Universität Leipzig

参考URL

Inter DaF

<http://www.interdaf.uni-leipzig.de/learn-german.html>

Universität Leipzig

<http://www.interdaf.uni-leipzig.de/>

Universität Leipzig (ライプツィヒ大学)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
ドイツ ライプツィヒ	1409 年	公立大学	—	—

留学スケジュール

留学期間: 平成31年4月～平成31年8月

【前期】

Intensivsprachkurse: 5月上旬～6月下旬 (8週間)

Intensivsprachkurse: 7月上旬～8月下旬 (8週間)

【後期】

専修大学: 9月～1月

研修校のプロフィール

ドイツ東部のザクセン州に位置する、ドイツで2番目に古い総合大学。1409年、プラハ大学事件を契機に、そこを去ったドイツ人教員や学生を受け入れるためにマイセン辺境伯フリードリヒ4世が創立。現在は14学部と150学科を抱え、ゲーテ、ニーチェ、作曲家のシューマン、メルケル首相等の著名人も多数輩出している。

語学能力基準

※詳細は P. 46 参照

ドイツ語技能検定試験 4 級

募集人数

5 名

平成 30 年度募集開始

応募者数	派遣者数
—	—

滞在形式

ゲストハウスまたは学生寮

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
10月6日(土)	秋の海外留学・国際交流フェア
11月9日(金)	願書提出期限
11月10日(土)	第1次選考(筆記試験)
11月21日(水)	第1次選考可否発表
11月24日(土)	選考試験(面接・書類審査)
11月26日(月)	候補者発表・候補者説明会
12月1日(土)	候補者オリエンテーション
12月8日(土)	留学 OB/OG による講演会
12月15日(土)	海外安全セミナー
2月～3月	事前研修
3月中旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション 教務ガイダンス
4月下旬～	出発

留学費用(概算)

内訳	ユーロ(€)	日本円 €1=134で計算
集中ドイツ語研修	€2,990～	¥400,000～
滞在費・食費等	€2,260～	¥310,000～
事前事後研修費		¥23,000
海外旅行保険料 J-TAS含		¥60,000～
合計		¥793,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



中期留学プログラム(後期)



University of Nebraska-Lincoln (ネブラスカ大学リンカーン校)

参考URL

Intensive English Program

<http://www.unl.edu/piesl/iep.shtml>

University of Nebraska-Lincoln

<http://www.unl.edu/>

所在国・地域	創設年	設置形態	学期制	学生数
アメリカ合衆国 ネブラスカ州 リンカーン市	1869 年	州立大学	セメスター制 (2学期)	約 25,000 名

大学のプロフィール

米国の中西部の大平原にあるネブラスカ州の州立大学で、その教育水準は州内トップを誇り、多数の学部が全米でも上位にランクされている。広大なリンカーン・キャンパスにはアメリカンフットボール専用の85,000名を収容するメモリアルスタジアムをはじめ、スポーツセンター、劇場、歴史民族博物館などがあり、約25,000名の学生を有する。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 46 を参照

- ① TOEFL iBT®45 点以上
- ② TOEFL ITP®450 点以上
- ③ TOEFL®セミナー(夏期特訓コース)受講後試験の結果が 450 点以上

募集人数

10 名

平成 30 年度実績

英語圏(後期)応募者総数	派遣者数(予定)
4 名	1 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
1月18日(金)	願書提出期限
3月1日(金)	選考試験(面接・書類審査)
3月4日(月)	候補者発表・候補者説明会
3月8日(金)	候補者オリエンテーション
3月～4月	教務ガイダンス
4月下旬(予定)	春の海外留学・国際交流フェア
5月～7月	事前研修
7月	留学 OB/OG による講演会 海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション
8月上旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年8月～平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

Fall Semester: 8月中旬～12月上旬(16週間)

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、ネブラスカ大学リンカーン校の集中英語研修(Intensive English Program)のFall Semester(16週間)を受講します。

留学費用(概算)

内訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
集中英語研修	\$5,040～	¥5400,000～
滞在費・食費等	\$7,841～	¥840,000～
事前事後研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥70,000～
合計		¥1,473,000～ 奨学生:¥933,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンスサポート制度(SAFS)

◆ネブラスカ大学リンカーン校中期留学特別奨学生

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



中期留学プログラム(後期) 社会知性開発コース



参考URL

Waikato Pathways College

<http://education.waikato.ac.nz/pathways/>

The University of Waikato

<http://www.waikato.ac.nz/>



The University of Waikato (ワイカト大学) + 海外インターンシップ

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
ニュージーランド ハミルトン市	1964 年	国立大学	セメスター制 (2 学期)	約 13,000 名

大学のプロフィール

1964年に政府の基金により設立された国立大学である。公園のような美しいキャンパスには7学部49学科、約13,000名の学生が学んでいる。マオリ族の学生が多いのも特徴で、マオリの研究はニュージーランドで最も進んでいると言われている。また約2,800名の留学生在が学んでいる。大学のあるハミルトン市は人口14万人を越え、ニュージーランドで4番目に大きな都市である。市内を流れるワイカト川沿いには公園が多数あり、市民の憩いの場となっている。

語学能力基準

※応募には 2 回分のスコアが必要です。
※詳細は P. 46 を参照

- ① TOEFL iBT®45 点以上
- ② TOEFL ITP®450 点以上
- ③ TOEFL®セミナー(夏期特訓コース)受講後試験の結果が 450 点以上

募集人数

10 名

平成 30 年度実績

英語圏(後期)応募者総数	派遣者数
4 名	3 名

滞在形式

ホームステイ

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
1月18日(金)	願書提出期限
3月1日(金)	選考試験(面接・書類審査)
3月4日(月)	候補者発表・候補者説明会
3月8日(金)	候補者オリエンテーション
3月～4月	教務ガイダンス
4月下旬(予定)	春の海外留学・国際交流フェア
5月～7月	事前研修
7月	留学 OB/OG による講演会 海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション
8月上旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間: 平成31年8月～平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

Block 3 CAEL: 8月上旬～10月下旬(11週間)

General English: 10月下旬～11月中旬(3週間)

インターンシップ: 11月中旬～12月中旬(4週間)

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、ワイカト大学にて8月上旬から始まるCAEL(Certificate of Attainment in English Language)またはCAAE(Certificate of Attainment in Academic English)のBlock 3を11週間受講し、その後General Englishを3週間受講します。アカデミック・スキルズ(ディスカッション、ノートテイキング、エッセイライティング、プレゼンテーション等)を学びます。
- ◆英語研修終了後、オークランドに移動し、インターンシップを4週間行います。

留学費用(概算)

内訳	ニュージーランドドル (\$)	日本円 \$1=81で計算
集中英語研修	\$ 6,450～	¥ 525,000～
滞在費・食費等	\$ 6,509～	¥ 530,000～
インターンシップ代	\$ 1,150～	¥ 95,000～
事前事後研修費他		¥ 45,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥ 70,000～
合計		¥ 1,265,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

インターンシップ派遣先(一部)

語学学校、旅行代理店、流通、幼児教育補助、老人ホーム、ホテル、環境保護団体他。

※詳細は、P. 47～48を参照。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。

中期留学プログラム(後期)



Shanghai University (上海大学)

参考URL
上海大学国際交流学院
<http://www.cie.shu.edu.cn/>
上海大学
<http://en.shu.edu.cn/>

所在国・地域	創設年	設置形態	学期制	学生数
中華人民共和国 上海市	1922 年	市立大学	セメスター制 (2学期)	約 39,000 名

大学のプロフィール

中国・上海市に上海経済建設と社会発展の人材の育成のために 1983 年に設立された市立総合大学である。上海大学は文学部、国際経営学部をはじめ 27 の学部から構成され約 39,000 名の学生が学んでいる。そのうち留学生は、約 4,000 名。キャンパスのある上海市は、中国を代表する、活気にあふれる国際商業都市である。

語学能力基準

HSK3 級または中国語検定試験 4 級
※詳細は P. 46 を参照。

募集人数

5 名

平成 30 年度実績

応募者数	派遣者数(予定)
3 名	3 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
1月18日(金)	願書提出期限
1月19日(土)	第1次選考(筆記試験)
2月25日(月)	第1次選考可否発表
3月1日(金)	選考試験(面接・書類審査)
3月4日(月)	候補者発表・候補者説明会
3月8日(金)	候補者オリエンテーション
3月～4月	教務ガイダンス
4月下旬(予定)	春の海外留学・国際交流フェア
5月～7月	事前研修
7月	留学 OB/OG による講演会 海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション
8月上旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年9月～平成32年1月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

秋季班研修: 9月上旬～1月上旬

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、上海大学国際交流学院で開講される、秋季班研修を受講します。

留学費用(概算)

内訳	中国元(元)	日本円 1元=17で計算
集中中国語研修	9,250元～	¥160,000～
滞在費・食費等	22,340元～	¥380,000～
事前事後研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥75,000～
合計		¥638,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・フィナンシャルサポート制度(SAFS)

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



中期留学プログラム(後期)



Dankook University (檀国大学)

参考URL

Dankook University

<http://www.dankook.ac.kr/>

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
大韓民国 龍仁市・天安市	1947 年	私立大学	セメスター制 (2学期)	約 29,000 名

大学のプロフィール

韓国・龍仁市と天安市にキャンパスをもつ私立総合大学である。21学部と大学院では12の研究科から構成されており、全部で約29,000名の学生が学んでいる。また、檀国大学は日本語教育に熱心な大学でもある。2007年にソウルキャンパスから新しく完成した竹田キャンパスに移転した。ソウル近郊の高台に広大なキャンパスを誇る。

語学能力基準

ハングル能力検定 5 級または
韓国語能力試験 TOPIK I
(2 級以上) ※詳細は P. 46 を参照。

募集人数

5 名

平成 30 年度実績

応募者数	派遣者数(予定)
3 名	3 名

滞在形式

学生寮

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
1月18日(金)	願書提出期限
1月19日(土)	第1次選考(筆記試験)
2月25日(月)	第1次選考合格発表
3月1日(金)	選考試験(面接・書類審査)
3月4日(月)	候補者発表・候補者説明会
3月8日(金)	候補者オリエンテーション
3月～4月	教務ガイダンス
4月下旬(予定)	春の海外留学・国際交流フェア
5月～7月	事前研修
7月	留学 OB/OG による講演会 海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション
8月上旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年8月～平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

Korean Immersion Program : 8月上旬～8月下旬(3週間)

Korean Language Program for Fall Semester : 9月上旬～12月中旬(15週間)

◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。

◆後期は、檀国大学にて2つのプログラム(Korean Immersion Program [KIP]、Korean Language Program for Fall Semester[15週間])を受講します。なお、協定校の都合により、プログラム期間等に変更になる場合があります。

留学費用(概算)

内 訳	米ドル(\$)/ ウォン(₩)	日本円 \$1=107円 100ウォン=10円で計算
集中コリア語研修	\$1,000 +₩2,000,000	¥107,000～ +¥200,000～
滞在費・食費等	₩2,715,000 ～	¥275,000～
事前事後 研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥60,000～
合 計		¥665,000～ 奨学生: ¥465,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センタースタディアブロード・ファイナンスサポート制度(SAFS)

◆檀国大学中期留学特別奨学生

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。

中期留学プログラム(後期)

UNIVERSITÉ LUMIÈRE LYON 2
UNIVERSITÉ DE LYON

参考URL

Centre International d'Etudes Françaises (CIEF)

<http://cief.univ-lyon2.fr/>

Université Lumière Lyon 2

<http://www.univ-lyon2.fr/>

Université Lumière Lyon 2 CIEF (リュミエール・リヨン第2大学CIEF)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
フランス ローヌ・アルプ地方 リヨン市	1968 年	国立大学	セメスター制 (2学期)	約 28,000 名

大学のプロフィール

学生数約28,000名を有するフランス有数の大学。キャンパスは街の中心部に位置し、ローヌ川に面している。6学部から成り、特に人文学、社会学の分野は顕著である。また4,000人以上の留学生が学ぶ国際的な大学である。リヨンはパリに次ぐフランス第2の近代都市であり、市街地域の開発によって活気に満ちた都市となっている。

語学能力基準

実用フランス語技能検定試験 4 級・DEL F A2

※詳細は P. 46 を参照。

募集人数

3 名

平成 30 年度実績

応募者数	派遣者数(予定)
0 名	0 名

滞在形式

学生寮

フランスでは、一般的に教育機関が独自の学生寮を所有しておらず、CROUS "Centre Régional des Œuvres Universitaires et Scolaires" (クルス=文部省の下部組織で、学生へのサービス・支援を行っている機関) が管理する学生寮に滞在することになります。

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
1月18日(金)	願書提出期限
1月19日(土)	第1次選考(筆記試験)
2月25日(月)	第1次選考合格発表
3月1日(金)	選考試験(面接・書類審査)
3月4日(月)	候補者発表・候補者説明会
3月8日(金)	候補者オリエンテーション
3月～4月	教務ガイダンス
4月下旬(予定)	春の海外留学・国際交流フェア
5月～7月	事前研修
7月	留学 OB/OG による講演会 海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション
8月上旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年9月～平成32年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

CIEF: 9月上旬～12月下旬

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、リュミエール・リヨン第2大学のCIEF (Centre International d'Etudes Françaises) でフランス語研修を受講します。

留学費用(概算)

内訳	ユーロ(€)	日本円 €1=134で計算
集中フランス語研修	€1,870～	¥255,000～
滞在費・食費等	€2,797～	¥375,000～
事前事後研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥60,000～
合計		¥713,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センター「スタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)」

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



中期留学プログラム(後期)



参考URL
Universidad Iberoamericana
<http://ibero.mx/>

Universidad Iberoamericana (イベロアメリカーナ大学)

所在国・地域	創立年	設置形態	学期制	学生数
メキシコ メキシコシティ	1943 年	私立大学	セメスター制 (2 学期)	約 11,000 名

大学のプロフィール

メキシコの首都メキシコシティの郊外に、1943 年にイエズス会によって設立された私立大学。人文学部・経済学部・経営学部・理工学部などで約 11,000 名の学生が恵まれた設備のもとに学んでいる。メキシコシティは、海拔 2,200m に位置する人口 1,800 万人を数える世界有数の大都市と知られ、市内のいたるところで見られるアステカの遺跡やスペインの植民地時代のコロニアル建築物が当時を偲ばせる。

語学能力基準

スペイン語検定試験 DELE A2 またはスペイン語技能検定 5 級
 ※詳細は P. 46 を参照。

募集人数

5 名

平成 30 年度実績

応募者数	派遣者数(予定)
0 名	0 名

滞在形式

ホームステイ

選考から出発までのスケジュール

日 程	選考・オリエンテーション
1月18日(金)	願書提出期限
1月19日(土)	第1次選考(筆記試験)
2月25日(月)	第1次選考可否発表
3月1日(金)	選考試験(面接・書類審査)
3月4日(月)	候補者発表・候補者説明会
3月8日(金)	候補者オリエンテーション
3月～4月	教務ガイダンス
4月下旬(予定)	春の海外留学・国際交流フェア
5月～7月	事前研修
7月	留学 OB/OG による講演会 海外安全セミナー
7月下旬	留学許可書交付式・出発前オリエンテーション
8月上旬～	出発

※日程は変更になる場合があります。

留学スケジュール

留学期間:平成31年8月～平成31年12月

【前期】

専修大学: 4月～8月

【後期】

Fall Semester: 8月上旬～12月上旬(18週間)

- ◆前期は、専修大学で所属する学部学科の授業を履修します。
- ◆後期は、イベロアメリカーナ大学の集中スペイン語研修Fall Semester(18週間)を受講します。

留学費用(概算)

内訳	米ドル(\$)	日本円 \$1=107で計算
集中スペイン語研修	\$900～	¥100,000～
滞在費・食費等	\$3,740～	¥405,000～
事前事後研修費他		¥23,000～
海外旅行保険料 J-TAS含		¥75,000～
合計		¥603,000～ 奨学生: ¥503,000～

※上記費用は平成30年3月時点のものであり、留学先大学による費用の改訂等により実際の留学時の費用とは異なる場合があります。

※上記費用の他、渡航旅費、テキスト代、医療費、その他個人的費用(被服費・交際費等)がかかります。

※渡航時期・期間により渡航旅費は異なりますが、目安としては¥100,000～¥300,000です。

※留学年度においても本学への学費の全額を納入する必要があります。

専修大学国際交流センター「スタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度(SAFS)」

◆イベロアメリカーナ大学中期留学特別奨学生

◆専修大学中期留学プログラム補助金

※詳細は、P. 8を参照。



VII. 寮内留学プログラム

寮内留学プログラムとは

寮内留学プログラムとは、国際交流協定校等からの短期留学生や交換留学生の滞在する「専修大学国際交流会館」にレジデント・パートナー（RP）として、前期は約4ヶ月間（3月下旬～8月上旬）、後期は約6ヶ月間（9月上旬～翌年3月上旬）入寮し、専修大学21世紀ビジョンの下、留学生との協働生活を通じて異文化理解や国際コミュニケーション力を養うことを目的としたグローバル人材育成プログラムです。事前の準備講座として、前期は3月下旬、後期は9月上旬にそれぞれ5日間の「English Camp（英語合宿）」を受講します。



寮内留学プログラム参加に当たっては、学業との両立ができ、自身の成長のみならず、留学生をサポートする積極性やボランティア精神を有し、異なるバックグラウンドを持つ他者との協働ができる人物が求められます。

応募締切日

前期：平成30年度の募集は終了しました。

平成31年度に応募締切は平成31年1月中旬の予定です。

後期：平成30年6月21日（木）

応募条件

- ① プログラムの趣旨を理解し、参加目的が明確な者
- ② 心身ともに健康で、本プログラム参加に支障がないと見込まれる者
- ③ 異文化に柔軟に適応でき、居住者のプライバシーに配慮し、共同生活を送れる者
- ④ 誓約書に記載されている事項に同意し、保証人の承諾が得られる者
- ⑤ プログラム参加における諸手続きを遅滞なく行い、プログラム期間中は本学の指示に従うことができる者

※なお、本プログラム対象者は、本学在学生（学部生または大学院生とし、休学者及び休学予定者を除く）のみとし、前期・後期にかかわらず、本プログラムへの参加が初めての者に限る。

応募手続

募集説明会に参加し、申込締切日までに全ての応募書類を揃えて、本人が国際交流事務課に提出してください。

● 応募書類

- ① 寮内留学プログラム参加申込書〔様式1-1〕
- ② 寮内留学プログラム応募理由書〔様式1-2〕
- ③ 誓約書〔様式2〕
- ④ 承諾書〔様式3〕
- ⑤ 学業成績証明書（和文1通） ※1年生を除く。
- ⑥ 保健調査票

滞在形式について

専修大学国際交流会館に滞在します。部屋割りは本学が決定します。留学生との相部屋になるとは限りません。留学生の滞在状況により、本学学生同士または一人部屋での滞在となる場合があります。

プログラム内容について

① English Camp

「日本文化・歴史・日本事情やキャンパスライフ」をテーマに、英語によるダイアログ（対話）を実施し、相互理解と多角的な視野を持つ力も身に付けるアクティブ・ラーニングを行います。

② 異文化間コミュニケーショントレーニング

多様な文化背景を持つ留学生と生活を送る上で求められる RP としての役割、ケーススタディー、トラブル対応の方法について学びます。また、寮内留学プログラムの今後の取り組み方について話し合いながら、他者とのコミュニケーションを通じて協働生活の基礎づくりを行います。

③ レジデント・パートナー

国際交流会館に滞在し、日本理解（BCL）プログラム、日本語・日本事情（JLC）プログラムに参加する短期留学生の学習・日常生活をサポートします。

来日する主な留学生

国際交流協定校等からの短期留学生や交換留学生が参加するプログラム・期間及び参加者の国籍・人数は以下のとおりです（平成 29 年実績）。

プログラム	期 間	国 籍（人数）
春期 JLC コース	5 月上旬 ～6 月上旬	カナダ（18）※、ドイツ（1）、中国（4）、 中国（香港）（1）、台湾（1）、韓国（1）、 ベトナム（3）、インドネシア（1）、エジプト（1） ※主にカルガリー大学（カナダ）からの留学生
Group Study プログラム	5 月下旬 ～2 週間	カナダ（15）、エチオピア（1） ※カルガリー大学（カナダ）からの留学生
GO Tokyo プログラム	5 月下旬 ～3 週間	アメリカ（19）※、韓国（1） ※サスケハナ大学（米国）からの留学生
夏期 JLC コース	6 月中旬 ～8 月上旬	アメリカ（6）、カナダ（2）、フランス（1）、 イギリス（1）、ドイツ（1）、ポルトガル（1）、 中国（2）、中国（マカオ）（1）、韓国（7）、 シンガポール（1）、ベトナム（2）、カンボジア（1）、 ラオス（1）、イラン（1）、日本（1）
秋期 BCL/JLC コース	9 月中旬 ～12 月中旬	アメリカ（5）、カナダ（2）、フランス（1）、 アイルランド（2）、中国（2）、台湾（4）、韓国（2）、 ベトナム（1）、ラオス（1）、マレーシア（1） モンゴル（1）、オーストラリア（2）
冬期 JLC コース	1 月上旬 ～2 月下旬	アメリカ（2）、フランス（1）、イタリア（1）、 中国（1）、中国（香港）（1）、韓国（30）、 インド（1）、チリ（1）、日本（1）

※年度により受入れプログラム及び人数は異なります。



寮内留学プログラム(後期) ※平成 30 年度

プログラム期間

平成30年9月5日(水)～平成31年3月2日(土)【178日間】

- ① English Camp
平成30年9月6日(木)～平成30年9月12日(水)
- ② 異文化間コミュニケーショントレーニング
平成30年9月13日(木)、平成30年10月27日(土)
- ③ レジデント・パートナー (RP)
平成30年9月5日(水)～平成31年3月2日(土)

選考から入寮までの主なスケジュール

日付	選考・オリエンテーション
4月～5月	募集説明会・国際交流会館見学会
6月21日(木)	願書提出期限
6月25日(月)	事前面談 期間中に応募者毎にスケジュール調整を行い個別に事前面談を実施します。
6月30日(土)	
6月30日(土)	筆記試験
7月7日(土)	選考(面接・書類審査)
7月9日(月)	候補者発表
7月28日(土)	候補者オリエンテーション
9月5日(水)	開講式・入寮オリエンテーション・館内ツアー プログラム開始

※日程は変更になる場合があります。

募集人数

15名



プログラム費用(概算)

内訳	費用
English Camp受講料	¥15,000
異文化間コミュニケーション トレーニング受講料	¥2,000
滞在費(全期間)	¥217,400
寮内留学プログラム 補助金	△ ¥92,000
合計	¥142,400

※上記費用は平成30年3月時点のものです。変更になる場合があります。
※上記費用には水道光熱費、リネン代、インターネット使用料を含みますが、洗濯は館内のコインランドリーとなります。

※食事の提供はありません。館内のキッチンで自炊となります(食器・調理器具完備)。

※その他、個人的費用(被服費・交際費等)は別途かかります。
△専修大学寮内留学プログラム補助金…寮内留学プログラム参加者の経済的負担を軽減し、グローバル人材の育成を支援することを目的として、補助金を支給します。

寮内留学プログラム(前期) ※平成 31 年度

プログラム期間

平成31年3月下旬～平成31年8月上旬

- ① English Camp
平成31年3月下旬
- ② レジデント・パートナー (RP)
平成31年3月下旬～平成31年8月上旬
- ③ その他のプログラム内容
 - ・ 日本紹介プレゼンテーション: 2回
 - ・ 異文化間コミュニケーショントレーニング: 2回

選考から入寮までの主なスケジュール

日付	選考・オリエンテーション
10月～12月	募集説明会・国際交流会館見学会
1月中旬	願書提出期限
1月下旬	事前面談 期間中に応募者毎にスケジュール調整を行い個別に事前面談を実施します。
1月下旬	筆記試験
3月1日(金)	選考(面接・書類審査)
3月2日(土)	候補者発表
3月4日(月)	候補者オリエンテーション
3月下旬	開講式・入寮オリエンテーション・館内ツアー プログラム開始

※日程は変更になる場合があります。

※このほか、開講式前にいくつかプログラムスケジュールが組まれています。

募集人数

15名(予定)



プログラム費用(概算) ※平成 30 年度例

内訳	費用
English Camp受講料	¥15,000
異文化間コミュニケーション トレーニング受講料	¥2,000
滞在費(全期間)	¥169,200
寮内留学プログラム 補助金	△ ¥70,000
合計	¥116,200

※上記費用は平成30年3月時点のものです。変更になる場合があります。
※上記費用には水道光熱費、リネン代、インターネット使用料を含みますが、洗濯は館内のコインランドリーとなります。

※食事の提供はありません。館内のキッチンで自炊となります(食器・調理器具完備)。

※その他、個人的費用(被服費・交際費等)は別途かかります。
△専修大学寮内留学プログラム補助金…寮内留学プログラム参加者の経済的負担を軽減し、グローバル人材の育成を支援することを目的として、補助金を支給します。

VIII. 留学関連情報

Frequently Asked Questions (よく聞かれる質問：交換留学・中期留学)

ここでは、交換留学プログラム及び中期留学プログラムに関してよく聞かれる質問をいくつか挙げています。その他の疑問点は、国際交流事務課まで気軽に問い合わせてください。

Q1 応募したいのですが、大学の成績が良くありません。語学能力基準は満たしているのですが…。

A1 応募条件の1つに、選考時における学業成績の平均点が70.0点以上の者という条件がありますので、例えば語学能力基準を満たしても学業成績が低ければ応募することができません。また、交換留学プログラムについては、留学先大学では、当然留学先国の言語による正規授業に出席します。このため日本での一定以上の学業成績及び語学能力基準が求められます。

Q2 学業成績の平均点はどのように確認すればよいのですか。

A2 学業成績の平均点は、選考までに確定している成績をもとに算出します。国際交流事務課窓口で渡している学業成績通知書で確認できますので、詳細については国際交流事務課まで問い合わせてください。

Q3 現在私は1年生なので、学業成績平均点及び成績証明書の扱いはどうなるのでしょうか。

A3 選考時において確定している成績の成績証明書を提出してください。平均点についても、確定している成績で平均点を算出します。なお、1年生は長期交換留学プログラムの第1期に申込むことはできませんので注意してください。

Q4 選考方法について教えてください。

A4 【中期留学】書類審査と面接（国際交流センター委員による日本語面接）、TOEFL®（英語圏）または語学能力を測る筆記試験（英語以外の外国語圏）及び学業成績を総合的に判断して、候補者を決定します。

【交換留学】第1次選考では、①筆記試験（英語以外の外国語圏）、②留学先国の語学に携わる教員による外国語能力試験を行います。その後、第2次選考の①国際交流センター委員による日本語の面接、②書類審査によって総合的に判断し、候補者を決定します。ただし、第2次選考は第1次選考合格者に対してのみ行います。

本学交換留学制度では、留学先大学において、語学ではなく専門科目（所属する学部で開講されている専門科目に振替が可能な科目）の修得を目的としています。国際交流センター委員による面接では、この点について確認されますので、応募理由と留学目的・学習計画を明確にして、応募書類を作成し、選考に臨んでください。

Q5 留学期間中、専修大学での身分はどうなるのでしょうか。また、学費の取扱いは…？

A5 休学ではなく、本学に在籍したまま留学することになります。したがって、留学年度の専修大学の学費（1年分）を納付することになります。

Q6 単位認定にはどのような手続が必要なのですか。

A6 【中期留学】留学前に単位認定の対象となる科目の中から、事前に申請・仮履修登録等の手続き等をする必要があります。事前・事後研修を受講し、現地において所定のコースを修了することによって、その科目に単位が認定されます。

【交換留学】学部によって認定のプロセスは異なりますが、留学期間中及び帰国後に提出する書類（履修科目登録届、授業の内容がわかる書類、成績証明書等）をもとに、帰国後各学部担当教員との面談後、認定科目・認定単位が決定されます。定められた書類の提出、成績の結果により単位認定をしますので、留学前に単位認定される科目について言明することはできません。

Q7 現在私は2年生で教職課程を履修していますが、3年次で留学した場合4年間で卒業し、教育職員免許状を取得できるのでしょうか。

A7 教職課程の科目への単位認定は行いません。したがって、3年次で留学した場合、教育実習を行う条件として、3年次で修得しなければならない必修科目の教育実習1、教科教育研究1・2（英語以外）を履修できません。

さらに、帰国後4年次で教育実習1と教育実習2を同時に履修することも出来ません。つまり、4年次で教育実習1、教科教育研究及びその他3・4年次配当科目を履修し単位を修得した上で、5年次で教育実習2を履修することになるので、5年間で卒業ならば免許状を取得することができます。もしくは、4年間で卒業し、その後科目等履修生として不足している単位を修得することにより、免許状が取得可能になります。（文学部英語英米文学科の学生で中期留学プログラムにて3年次前期に留学を希望する場合、2年次に英語科教育研究1・2を修得し、3年次後期に教育実習1を修得した場合は、4年間で免許状の取得が可能です。）

2年次で留学した場合は、2年次配当科目を帰国後3年次で履修することになります。そのため、3年次以降履修する科目数が増加することが考えられますが、4年間で免許状を取得することは可能です。あらかじめ、教務課資格課程事務室で相談し、各自後悔のないようしっかりと履修計画を立ててください。

Q8 学芸員課程を履修していますが、その場合留学できるのでしょうか。

A8 3、4年次で博物館実習を履修する場合、前年度の9月下旬頃に行われるガイダンスに出席し、所定の手続を行う必要があります。また、博物館実習を履修するための条件科目の単位も修得していなければなりません。帰国後に実習を考えている場合はこのガイダンスに出席することができませんので、学芸員課程の履修計画について教務課資格課程事務室で相談してください。

Q9 現在私は英語英米文学科の2年生ですが、3年次に留学した場合ゼミナールの履修は…？

A9 【中期留学/セメスター交換留学】3年次のゼミナール1と2は必修科目ですので、帰国後4年次のゼミナール3～4とは別に留学期間中に履修できなかったゼミナール1または2を履修することになります。

【長期交換留学】3年次のゼミナール1と2は必修科目ですので、帰国後4年次にゼミナール1～4を履修することになります。

Q10 選考後の流れを教えてください。

A10 候補者決定後すぐに候補者オリエンテーションを行ない、出発までに本学及び留学先大学に提出する書類や手続きの流れ等について説明します。また、渡航前に事前研修を行います。その他にも海外安全セミナーや留学目標設定のための留学OB/OGによる講演会など、様々な事前研修が行われます。詳細については、各留学先大学のページに記載されている「選考から出発までのスケジュール」を参照してください。

Q11 留学したいのですが、就職活動が気になります。

A11 確かに中期留学プログラム（後期）またはセメスター交換留学プログラムに参加すると、帰国が12月下旬、長期交換留学プログラム（第2期）に参加すると1月下旬から5月下旬の帰国となり、就職活動の流れに遅れをとらないか不安があるかもしれません。しかし出発前にきちんと情報収集し、留学中も時間を有効に活用し、インターネットなどで就職活動の準備をすることも可能です。留学前に自分の将来についてよく考え、就職課にも足を運び、情報を収集し、計画的に準備を行い、留学して何を得たのかを面接でアピールすることが大切です。

Q12 中期留学プログラム及びセメスター交換留学プログラムの留学年度は通年科目を履修することはできますか？

A12 中期留学及びセメスター交換留学プログラムに参加する場合は、通年科目を履修することはできません。

Frequently Asked Questions (よく聞かれる質問：寮内留学)

ここでは、寮内留学プログラムに関してよく聞かれる質問をいくつか挙げています。この他の疑問点は、国際交流事務課まで気軽に問い合わせてください。

Q1 応募したいのですが、大学の成績が良くありません。他の留学プログラムには学業成績平均点が70.0点以上とあるのですが・・・。

A1 寮内留学プログラムの応募条件には学業成績の平均点はありませんが、応募書類として学業成績証明書を提出していただきますので、書類審査の対象となります。また、プログラムの参加に際しては、学業と留学生のサポートの両立が必要となります。

Q2 寮内留学プログラム及びレジデント・パートナー（R P）は具体的に何をしますか？

A2 寮内留学プログラムは、留学生との協働生活を通じて異文化理解や国際コミュニケーション力を養い、グローバル人材を育成することを主目的にしています。R Pは、国際交流会館のルールを遵守し、積極的に留学生の生活面、学習面をサポートします。具体的には、留学生の生活支援（病院への同行、旅行手配、買い物、各種予約、印刷等）や寮内環境を維持するための様々なサポート（靴の整理整頓、皿洗い、ゴミ出し、荷物運び、トイレ・キッチン・シャワー掃除等）に主体的に取り組む姿勢が求められます。時には、留学生の生活指導をすることもあります。

Q3 レジデント・アシスタント（R A）とはどんなことをする人ですか？

A3 国際交流会館には、R Pの他に留学生のサポートをするレジデント・アシスタント（R A）と呼ばれる学生スタッフが滞在しています。R Aは、国際交流事務課スタッフの一員として教職員と留学生たちとの間に入る立場で、国際交流事務課からの連絡事項、注意やアドバイスなどを留学生やR Pに伝え、また逆に留学生やR Pからの要望などを国際交流事務課に伝え、寮生活が円滑に運ぶように留学生に助言し、留学生の生活指導をすることを仕事としています。寮内留学プログラム期間中は、国際交流事務課・国際交流会館のスタッフの指示はもちろん、R Aの指示にも必ず従わなければなりません。

Q4 門限はありますか？

A4 国際交流会館の門限は23時です。門限を過ぎての帰寮は原則として認められません。在寮生の事件・事故防止等安全面への配慮、規則正しい生活習慣及び近隣住民への迷惑防止等から設定しています。門限を厳守し、深夜の外出をしてはいけません。

Q5 入寮中に外泊することは可能ですか？

A5 留学生が滞在している日本語・日本事情プログラム期間中については、留学生との交流が最優先となるため、やむを得ないと認められる事由以外では外泊は認められません。週末等の自由行動において外泊をする場合には、必ず事前（最低でも3日前まで）に届け出て外泊許可を得なければなりません。

Q6 アルバイトは禁止ですか？

A6 留学生との協働生活の時間確保を優先しているため、長時間のアルバイトは勧められません。ただし、学生生活の維持等やむを得ない事情がある場合は、1週間あたり12時間を限度としてアルバイトを認めます。なお、アルバイトをする場合は申し出が必要です。

Q7 寮内での飲酒・喫煙については可能ですか？

A7 国際交流会館内では禁酒・禁煙です。酒類を持ち込むことも禁止です。20歳以上であれば居酒屋等で飲酒することは自由ですが、近隣住民の迷惑にならないように十分に注意してください。また、喫煙は、1階ラウンジ外の指定場所に限定されています。

Q8 国際交流会館での滞在部屋は必ず留学生との相部屋ですか？

A8 留学生の滞在状況により、必ずしも留学生との相部屋になるとは限らず、本学学生同士または一人部屋での滞在となる場合があります。

主な就職先情報

本制度を利用した学生は留学経験を生かして、様々な場で活躍しています。外資系企業で働いている卒業生や、国内の企業でも欧米圏やアジア圏の支店に赴任している卒業生、また世界を舞台に外務省や大使館で活躍している卒業生もいます。

【留学プログラム参加者の主な就職先】

<教育・公務>

在グアテマラ日本国大使館、在韓国日本国大使館、日本貿易振興機構（JETRO）、国境なき医師団、宇宙航空研究開発機構（旧宇宙開発事業団）、大学職員、高等学校教員、中学校教員

<運輸>

全日本空輸、日本航空、デルタ航空、国営カタール航空、エティハド航空、エミレーツ航空、エイチ・アイ・エス、日本通運、日通商事、鈴与、JAL スカイ、ANA ケータリングサービス、JTB コーポレートセールス、Uber Japan

<金融・保険>

三井住友銀行、りそな銀行、鹿児島銀行、朝日信用金庫、東京海上日動火災保険

<製造>

富士通ゼネラル、オリンパス、トプコン、東芝、日本アイ・ビー・エム、ぺんてる、日立工機、パイロット・コーポレーション、マブチモーター、三菱ガス化学、セガ、エポック社、伊藤忠メタルズ、伊藤忠マシンテクノス、日立製作所ボッシュ、日立オートモティブシステムズ、サントリービバレッジサービス、沢の鶴、伊藤園

<卸売・小売>

ユニクロ、ファミリーマート、ニトリ

<情報通信・マスコミ>

テレビ東京、電通デジタル

<他の業種>

日本郵便、日本水産、帝国ホテル、セルリアンタワー東急ホテル、シャングリ・ラホテル、グーグル、楽天、ジェーシービー、ドコモ・サービス、三菱 UFJ トラストビジネス、KPMG 税理士法人

※この他、英語教員、俳優、通訳・翻訳者として活躍している卒業生もいます。

留学に関する規程（抜粋）

○専修大学学則（抜粋）

第16条の3 本大学が教育上有益と認めるときは、本大学と協定した他の大学の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により修得した授業科目の単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位として認定することができる。

第26条 本大学が教育上有益と認めるときは、本大学と協定した外国の大学に留学することができる。

2 留学の期間は、1年を限度として在学年数に算入する。

3 留学に関する取扱いは、別に定める。

○専修大学大学院学則（抜粋）

第6条の2 本大学院が教育上有益と認めるときは、本大学院と協定した他の大学院（外国にあつてはこれに相当する高等教育研究機関を含む。）の授業科目を履修することができ、修得した授業科目の単位は、10単位を超えない範囲で課程修了に必要な単位として認定することができる。

第23条 本大学院が教育研究上有益と認めるときは、本大学院と協定した外国の大学院（これに相当する高等教育研究機関を含む。）に留学することができる。

2 留学期間は、1年を限度として在学年数に算入する。

3 留学に関する取扱いは、別に定める。

○専修大学学生の交換留学に関する規程（抜粋）

（趣旨）

第1条 この規程は、専修大学学則(以下「学則」という。)第26条第3項及び専修大学大学院学則(以下「大学院学則」という。)第23条第3項の規定に基づき、専修大学国際交流センターが交換留学プログラムにより主催する専修大学（以下「本大学」という。）の学生の交換留学に関し必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この規程において「交換留学」とは、本大学の学生が本大学と外国の大学(大学に相当する高等教育研究機関を含む。以下同じ。)との交流協定に基づき、本大学の許可を得て外国の大学で交換留学生として就学することをいう。

（種類）

第3条 交換留学の種類は、次のとおりとする。

- (1) 長期交換留学
- (2) セメスター交換留学

（応募資格）

第4条 交換留学(以下「留学」という。)に応募することができる者は、留学の出発時において本大学に1年以上在学し、かつ、所定の成績を修めている者でなければならない。ただし、大学院の学生は、この限りでない。

（応募の手続き）

第5条 留学を希望する者は、留学許可願に所定の書類を添付し、学長に提出しなければならない。

（許可）

第6条 留学の許可は、国際交流センター委員会で審査し、教授会又は大学院研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

（留学期間及び在学年数の取扱い）

第7条 長期交換留学の留学期間は、1学年を限度とし、在学年数に算入する。

2 長期交換留学の留学期間は、延長することができない。ただし、学長が教育研究上特に有益であると認める場合には、1学年を限度としてこれを延長することができる。

3 前項ただし書の規定により延長された留学期間（以下「長期交換留学の留学延長期間」という。）は、休学扱いとし、在学年数には算入しない。

第8条 セメスター交換留学の留学期間は、1学期相当期間を限度とし、在学年数に算入する。

2 セメスター交換留学の留学期間は、延長することができない。

（終了の手続）

第9条 留学を終えた者は、帰国の日から20日以内に留学報告書を学長に提出しなければならない。

（修得単位の認定）

第10条 第7条及び第8条の留学期間（長期交換留学の留学延長期間を除く。）中に修得した単位は、教授会又は大学院研究科委員会の議を経て認定することができる。

2 前項の規定により認定する単位数は、学部においては学則第16条の3第2項、大学院においては大学院学則第6条の2の定めるところとする。

（卒業及び課程修了）

第11条 前条の単位認定によって卒業又は課程修了の要件を備えた者は、留学期間終了時の年度に卒業し、又は修了することができる。

（帰国後の履修科目の登録）

第12条 帰国後の履修科目の登録は、特別措置として履修登録期間外においても行うことができる。この場合において、履修届未了者の取扱内規に定める手数料5,000円は、徴収しない。

2 留学出発年度に履修の登録をした科目であって、前項の規定により登録をしたものは、帰国した年度において引き続き履修することができるものとする。

3 第1項に規定する履修科目の登録は、指定された期限までに完了しなければならない。

（許可の取消し）

第13条 学長は、第6条の許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当することとなった場合には、留学先大学と協議の上、国際交流センター委員会の審査及び教授会又は大学院研究科委員会の議を経て、その許可を取り消すことができる。

- (1) 誓約書に定める事項に違反したとき。
- (2) 学生査証が与えられないとき。
- (3) 傷病その他やむを得ない理由により留学を続けることができないとき。

2 前項の規定により留学の許可を取り消された者は、その取消しに伴い必要とされる措置については、本大学の指示に従って行うものとする。

○専修大学交換留学奨学生規程（抜粋）

（趣旨）

第1条 この規程は、専修大学学則第39条第2項及び専修大学大学院学則第36条第2項の規定に基づき、学術研究を奨励し、かつ、国際交流を促進するために行う交換留学（専修大学学生の交換留学に関する規程第2条の交換留学をいう。以下同じ。）により就学する者に対する奨学金（以下「奨学金」という。）及び奨学金を受ける者（以下「交換留学奨学生」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(奨学金)

第2条 奨学金は、留学先大学に支払うべき学費の一部又は全部とする。

(採用人数及び期間)

第3条 交換留学奨学生を採用人数は、毎年若干名とする。

2 交換留学奨学生の採用期間は、次に掲げる期間を限度とする。

- (1) 長期交換留学にあつては、1 学年相当期間
- (2) セメスター交換留学にあつては、1 学期相当期間

3 交換留学奨学生の採用期間の延長は認めない。

(出願)

第4条 交換留学奨学生を希望する者は、学長に、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 交換留学奨学生願書
- (2) 学業成績証明書
- (3) 留学先大学が要求している語学能力試験結果
- (4) その他指定された書類

(選考)

第5条 前条の規定により出願した者の選考は、国際交流センター委員会が留学先大学の受入れ条件を考慮して、書類審査及び面接により行う。ただし、国際交流センター委員会が必要と認めた場合は、筆記試験を行うことができる。

(決定)

第6条 交換留学奨学生の決定は、前条の規定による国際交流センター委員会の選考を受けて、教授会又は大学院研究科委員会の議を経て、学長が行う。

(奨学金の返還)

第7条 専修大学学生の交換留学に関する規程第13条の規定により交換留学の許可を取り消された者については、学長は、既に支給された奨学金の一部又は全部を所定の期日までに返還させることができる。

○専修大学学生の中期留学に関する規程（抜粋）

(目的)

第1条 この規程は、専修大学国際交流センター（以下「センター」という。）が中期留学プログラムにより主催する専修大学（以下「本大学」という。）の学生の中期留学に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において「中期留学」とは、本大学の学生が本大学の許可を得て派遣先としてセンターが定めた外国の大学、語学研修所等（以下「派遣先大学等」という。）で1 学期相当期間を限度として就学することをいう。

(応募資格)

第3条 中期留学（以下「留学」という。）に応募することができる者は、留学の出発時において本大学に1 年以上在学し、かつ、所定の成績を修めている者でなければならない。ただし、大学院の学生は、この限りでない。

(応募の手続)

第4条 留学を希望する者は、留学許可願に所定の書類を添付し、学長に提出しなければならない。

(許可)

第5条 留学の許可は、国際交流センター委員会で審査し、教授会又は大学院研究科委員会の議を経て、学長が行う。

(留学期間及び留学期間中の取扱い)

第6条 留学期間は、1 学期相当期間を限度とし、在学年数に算入する。

2 留学期間は、延長することができない。

(終了の手続)

第7条 留学を終えた者は、帰国の日から20 日以内に留学報告書を学長に提出しなければならない。

(成績評価)

第8条 留学を終えた者の成績評価については、別に内規で定める。

(許可の取消し)

第9条 学長は、第5条の許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当することとなった場合には、派遣先大学等と協議の上、国際交流センター委員会の審査及び教授会又は大学院研究科委員会の議を経て、その許可を取り消すことができる。

- (1) 誓約書に定める事項に違反したとき。
- (2) 学生査証が与えられないとき。
- (3) 傷病その他やむを得ない理由により留学を続けることができないとき。

2 前項の規定により留学の許可を取り消された者は、その取消しに伴い必要とされる措置については、本大学の指示に従って行うものとする。

交換留学 中期留学 寮内留学 ガイドブック 2018

- I. 海外留学プログラム一覧
- II. 専修大学国際交流センター
スタディアブロード・ファイナンシャルサポート制度 (SAFS)
- III. 留学準備
- IV. 長期交換留学プログラム
- V. セメスター交換留学プログラム
- VI. 中期留学プログラム
- VII. 寮内留学プログラム
- VIII. 留学関連情報



専修大学国際交流センター

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

Tel: 044-911-1250 Fax: 044-911-1243

Email: iaffairs@acc.senshu-u.ac.jp

<https://www.senshu-u.ac.jp/global/>

